

第6学年

年間指導計画

## 第6学年の指導計画作成のポイント

### 1 目標と改訂のポイント

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。<知識及び技能>

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。<思考力、判断力、表現力等>

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。<学びに向かう力、人間性等>

#### (1) <知識及び技能>の改訂のポイント

- ・我が国の「政治の仕組み」という文言が加わり、日本国憲法との関連で国会、内閣、裁判所などの我が国の政治の仕組みを理解することが求められた。
- ・「グローバル化する国際社会における」という文言が加わり、地球規模で発生している課題を知ることが求められた。
- ・「まとめる技能」が明記され、第3学年や第4学年の目標にない「適切に」という文言を加えて、より質の高い技能を身に付けさせることを目指している。

#### (2) <思考力、判断力、表現力等>の改訂のポイント

- ・社会的事象の意味に「特色や相互の関連」という文言が、また、考える力に第3学年や第4学年の目標にない「多角的」という文言が加わるとともに、表現する力、第3学年や第4学年の目標にない「説明したり」「それらを基に議論したり」という文言が加わり、思考力、判断力、表現力の高まりが求められている。

#### (3) <学びに向かう力、人間性等>の改訂のポイント

- ・これまでの「興味・関心と理解を深める」という文言がなくなり、「主体的に学習の問題を解決しようとする態度」や「学習したことを社会生活に生かそうとする態度」を養うことが示され、多角的な思考や理解を通して、「我が国の将来を担う国民としての自覚」を養うことが新たに示された。

### 2 内容の改訂のポイントと単元配列案

- 内容(1)「我が国の政治の働き」 ← 旧内容(2)の ア、イ を入れ替えて設定。
- 内容(2)「我が国の歴史上の主な事象」 ← 旧内容(1)の イをイとウに分けて設定。  
旧内容(1)の オをカとキに分けて設定。
- 内容(3)「グローバル化する世界と日本の役割」 ← 旧内容(3)の アにイから「国際交流」の内容を移行。

★単元配列案 \*政治単元を歴史単元の前(第1単元)に配置する。

合計時数 105 時間

| 学習指導要領の内容 |                  | 小単元名            | 配当時数 |
|-----------|------------------|-----------------|------|
| (1)       | 我が国の政治の働き        | わたしたちのくらしと日本国憲法 | 10 時 |
|           |                  | わたしたちの願いを実現する政治 | 8 時  |
| (2)       | 我が国の歴史上の主な事象     | 縄文のむらから古墳のくにへ   | 7 時  |
|           |                  | 天皇中心の国づくり       | 6 時  |
|           |                  | 貴族のくらし          | 4 時  |
|           |                  | 武士の世の中          | 6 時  |
|           |                  | 今に伝わる室町文化       | 5 時  |
|           |                  | 戦国の世から天下統一へ     | 6 時  |
|           |                  | 江戸幕府と政治の安定      | 6 時  |
|           |                  | 町人の文化と新しい学問     | 6 時  |
|           |                  | 明治の国づくりを進めた人々   | 6 時  |
|           |                  | 世界に歩み出した日本      | 6 時  |
|           |                  | 長く続いた戦争と人々のくらし  | 6 時  |
|           |                  | 新しい日本、平和な日本へ    | 7 時  |
| (3)       | グローバル化する世界と日本の役割 | 日本とつながりの深い国々    | 8 時  |
|           |                  | 世界の未来と日本の役割     | 8 時  |

### 3 学習指導要領の内容構成及び内容の取扱い

|           | 内容構成  |  |   | 内容の取扱い  |
|-----------|---|--|---|---|
|           | 着目すること  | 考えること                                    | 理解すること  |   |
| 内容<br>(1) | 日本国憲法の基本的な考え方                                 | 日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考える。 | 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、栽培員制度や租税の役割などについて扱い、国民としての政治への関わり方について多角的に考え、自分の考えをまとめることができるよう配慮する。</li> </ul>  |
|           | 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなど                | 国民生活における政治の働きを考える。                       | 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解する。   |   |
| 内容<br>(2) | 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産など                       | 我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考える。           | 我が国が歩んできた大まかな歴史を理解するとともに、それらの事象に関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>世の中の様子がむらからくへと変化したこと</li> <li>天皇を中心とした政治が確立されたこと</li> <li>日本風の文化が生まれたこと</li> <li>武士による政治が始まったこと</li> <li>今日の生活文化につながる室町文化が生まれたこと</li> <li>戦国の世が統一されたこと</li> <li>武士による政治が安定したこと</li> <li>町人の文化が栄え新しい学問がおこったこと</li> <li>我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたこと</li> <li>我が国の国力が充実し国際的地位が向上したこと</li> <li>戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたこと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>国宝、重要文化財に指定されているものや、世界遺産に登録されているものなどを取り上げ、我が国の代表的な文化遺産を通して学習できるよう配慮する。</li> <li>例示された42人の人物を取り上げ、人物の働きを通して学習できるよう指導する。</li> <li>年表や絵画など資料の特性に留意した読み取り方についても指導する。</li> <li>歴史学習全体を通して、我が国は長い歴史をもち伝統や文化を育んできたこと、我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付くようにするとともに、現在の自分たちの生活と過去の出来事の間を繋ぎあわせたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えるようにする。</li> </ul> |
| 内容<br>(3) | 外国の人々の生活の様子など                                 | 国際交流の果たす役割を考える。                          | 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うよう配慮する。</li> <li>世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮する。</li> </ul>  |
|           | 地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力など | 国際社会において我が国が果たしている役割を考える。                | 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。   |   |

### 4 各内容のポイント

- 内容(1)「我が国の政治の働き」では、政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して、我が国の政治の働きに関する内容については、これまでの順序を改め、内容の(2)を(1)として示すとともに、内容の(ア、イ)の順序も改め、(ア)日本国憲法や立法、行政、司法の三権と国民生活に関する内容、(イ)国や地方公共団体の政治の取組に関する内容として示した。
- 内容(2)「我が国の歴史上の主な事象」では、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。また、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、年表や図表などに適切に整理することが大切である。
- 内容(3)「グローバル化する世界と日本の役割」では、国連の一員としてユニセフやユネスコなどの取組に我が国が協力する活動や、ODA（青年海外協力隊）やNGOなどの活動を教材として、我が国が国際社会の中で重要な役割を果たしていることを捉え、これからの我が国の国際交流や国際協力、国際貢献などの在り方について多角的に考え、話し合う学習を工夫して展開することが大切である。

|      |                 |          |                         |
|------|-----------------|----------|-------------------------|
| 小単元名 | わたしたちのくらしと日本国憲法 | 配当 10 時間 | 内容 (1) アの(イ)及び(ウ)とイの(ア) |
|------|-----------------|----------|-------------------------|

〈主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の区分〉

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめ、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| ①日本国憲法の基本的な考え方について見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。<br>②調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 | ①日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見出し、我が国の民主政治について考え、表現している。<br>②日本国憲法の基本的な考え方と国民生活や、国会、内閣、裁判所の働きと国民を関連付けて、日本国憲法が国民に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民の関連を考えたり、国民としての政治への関わり方を考えたりして、適切に表現している。 | ①日本国憲法の基本的な考え方について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、日本国憲法の考え方や政治と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①日本国憲法には、国民の基本的な権利を侵すことのできない永久の権利として保証されていること、我が国が国際紛争を解決する手段として戦争を永久に放棄すること、現在の我が国の民主政治は、日本国憲法の基本理念である国民主権の考え方と深く関わっていること、天皇は日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴として位置づけられていること、国民の権利と果たすべき義務が定められていることなどを理解することを意図している。
- ②我が国の政治には、国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があること、それらは相互に関連し合ってそれぞれの役割を果たしていることなどを基に、我が国の政治の仕組みについて理解することを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①日本国憲法をより身近に捉えさせるために、身近な公共施設の見学や聞き取り調査をしたり、国や県、区(市町村)などが作成した広報誌などで調べたりする活動を取り入れる。社会的な事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせながら、日本国憲法が自分たちの生活と密接に結び付いていることを意識させたい。
- ②新たに、選挙権が18歳に引き下げられたことの趣旨を鑑み、いかに段階で選挙の投票率について調べ、国民としてのこれからの政治への関わり方について、話し合ったり自分の考えを表現したりする活動を取り入れる。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①調べる段階で、毎時間、自分たちの生活との関わりを考えることにより、各自の考えを積み重ねさせ、「いかに」段階で政治への関わり方について多角的に考え、表現させたい。
- ②主体的・対話的で深い学びを行うために、一人一人が自分の考えをもち、少人数グループで資料を根拠として話し合う活動を行い、最終的に自分の考えを文章等で表現することにより、互いに考えを深められるようにする。

3 小単元の指導計画 (10時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                      | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|------|---|---|--|
| つかむ  | ①身近な公共施設の見学を基に、日本国憲法と国民生活との関連について考える。   | ○公共施設の写真や資料から気付いたことを話し合う。<br>◆公共施設はどのような考え方でつくられるのだろう。<br>○区の担当者から、施設の基となる考え方を聞く。<br>・日本国憲法の考え方に基づいてつくられている。<br>○日本国憲法の三原則について調べる。<br>・基本的人権の尊重 ・国民主権 ・平和主義   | ◎公共施設の写真や資料<br>◎区の担当者の話<br>◎日本国憲法の条文 【思①】<br>□担当者の話の中で、日本国憲法の考え方に基づき、施設がつくられていることに気付かせる。             |
| 調べる  | ②日本国憲法と自分たちの生活との関連を調べる学習問題をつくる。         | ○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わたしたちが安心して暮らせるために、日本国憲法はどのような働きをしているのだろう。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・日本国憲法の基本的な考え方を調べれば分かるかな。  | □既習事項を基に学習問題をつくる。<br><br><b>【思①】【態①】</b>   |
| 調べる  | ③基本的人権の尊重に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を理解する。    | ◆基本的人権とわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。<br>○基本的人権の尊重に基づいた取組を調べる。<br>○国民の権利と義務について調べる。<br>○基本的人権の尊重の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。  | ◎日本国憲法<br>◎区報や区のホームページ<br>□基本的人権の尊重が自分たちのくらしに関わることを、資料から具体的に考えさせる。<br><b>【知①】</b>                    |
| 調べる  | ④国民主権に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を理解する。        | ◆国民主権とわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。<br>○国民主権に基づいた取組を調べる。<br>○国民主権の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。<br>○天皇の地位について調べる。  | ◎日本国憲法<br>◎区報やホームページ<br>□国民主権が自分たちのくらしに関わることを、資料から具体的に考えさせる。<br><b>【知①】</b>                          |
| 調べる  | ⑤平和主義に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を理解する。        | ◆平和主義とわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。<br>○平和主義に基づいた取組を調べる。<br>○平和主義の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。  | ◎日本国憲法<br>◎区報や区のホームページ<br>□平和主義と自分たちのくらしの関わりを具体的に考えさせる。<br><b>【知①】</b>                               |
| まとめる | ⑥⑦⑧国会や内閣、裁判所の働きについて調べ、自分たちの生活との関連を理解する。 | ◆国会や内閣、裁判所には、どのような働きがあるのだろう。<br>○国会や内閣、裁判所の働きについて調べる。<br>○選挙の仕組みや裁判員制度について調べる。<br>○三権分立について調べ、図に整理する。<br>○国会や内閣、裁判所のはたらきと自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。  | ◎国会の仕事についての資料<br>◎内閣の仕事や仕組みの資料<br>◎裁判所の働きについての資料<br>□自分たちのくらしとの関わりを意識させ、図にまとめさせる。<br><b>【知①】【思①】</b> |
| いかす  | ⑨学習問題に対するまとめを発表する。                      | ◆わたしたちのくらしは、日本国憲法とどのようにつながっているのだろう。<br>○これまで学習したことを関連付けて、自分たちのくらしと日本国憲法の働きについて考え、話し合う。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・誰もが平和で安心して幸せに暮らせるのは、日本国憲法の考えに基づいて国や区の政治が行われているからだ。また、選挙や裁判員制度などもくらしと関係している。</div> | ◎前時までの資料やノート<br><br><b>【知②】【思②】</b>  |
|      | ⑩自分と憲法とのかかわりを考える。                       | ◆これから私たちは、くらしの中でどのように憲法を生かしていけばよいのだろう。<br>○投票率の変化や年齢別の投票率を調べ、話し合う。  | □投票率の変化等を基に、18歳選挙権等、具体的に考えさせる。<br><b>【思②】【態②】</b>  |

第1時の資料(つかむ)

資料 世田谷区役所の改築

◆公共施設はどのような考え方でつくられるのだろう。(出典:世田谷区HP)



改築



全ての人に分かりやすい施設を目指している。

区民の安心安全を支える施設を目指している。



資料 区役所の方の話

【指導上の留意点】日本国憲法の基本的人権の尊重に基づいていることを話していただく。

第2時の資料(つかむ)

○前時の学習を振り返る。

資料 教育費無償化の例

区役所の改築は、日本国憲法の基本的人権の尊重の考えに基づいて行われている。

私たちが使っている教科書は、税金によって無償となっている。これは、日本国憲法によって、教育を受ける権利が保障されているからだ。

身近な暮らしと日本国憲法との考え方に着目する。

【学習問題】

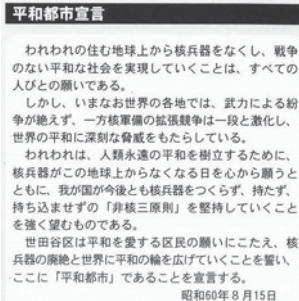
わたしたちが安心して暮らせるために、日本国憲法はどのような動きをしているのだろう。

○学習計画を立てる。



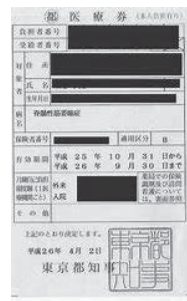
資料 区役所改築説明会(世田谷区HP)

国民主権



平和都市宣言(世田谷区HP)

平和主義



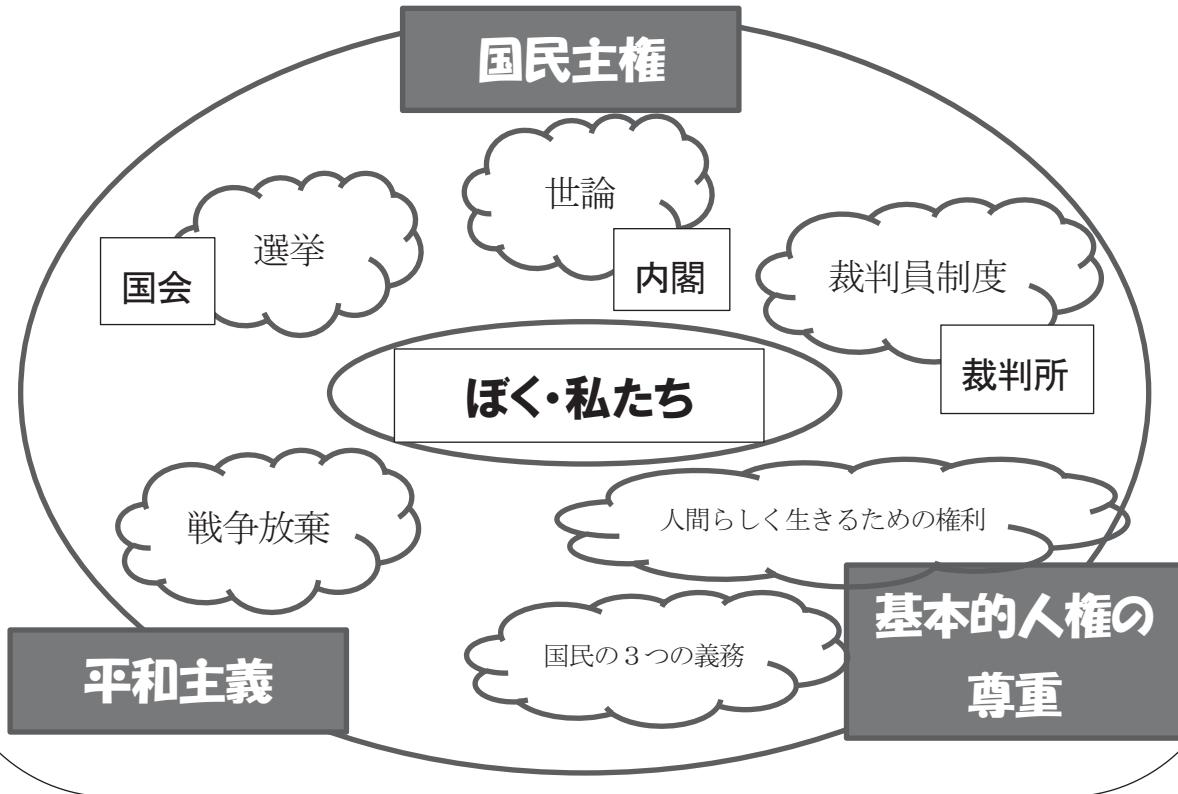
医療券、受給者証(東京都HP)

基本的人権の尊重

第9時の資料 (まとめる)

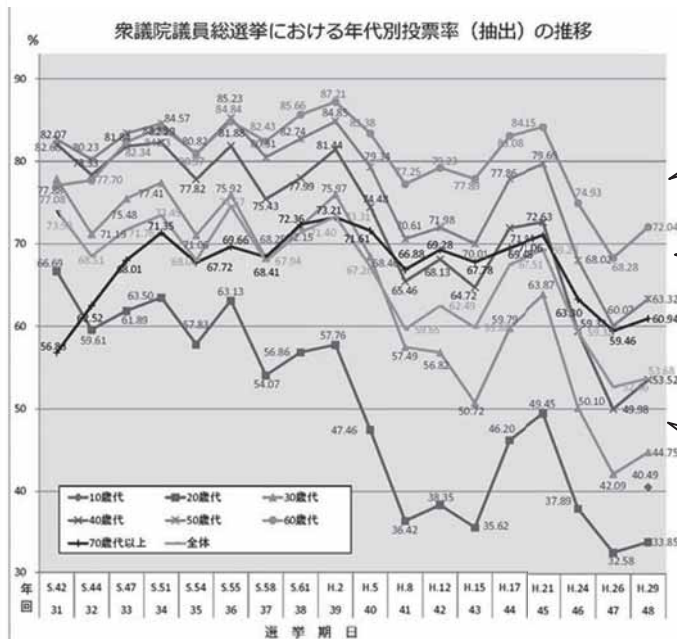
◆わたしたちのくらしは、日本国憲法とどのようにつながっているのだろう。

誰もが平和で安心して幸せに暮らせるのは、日本国憲法の考えに基づいて国や区の政治が行われているからだ。また、選挙や裁判員制度などもくらしと関係している。



第10時の資料 (いかす)

◆これから私たちは、くらしの中でどのように憲法を生かしていけばよいのだろう。



若者の投票率は低く、高齢者の投票率は高いな。

政治に参加する権利があるのに、投票に行かないのは、何か理由があるのかな？

選挙に参加できるまであと6年だから、自分の意見をもてるようにしたいな。

時間の長期的視点で、投票率の変化に着目する。

資料 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移 (出典：総務省 HP)

|      |                       |        |                         |
|------|-----------------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | わたしたちの願いを実現する政治（社会保障） | 配当 8時間 | 内容 (1) アの(イ)及び(ウ)とイの(イ) |
|------|-----------------------|--------|-------------------------|

<主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめ、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| ①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。<br>②調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 | ①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見出し、国や地方公共団体の政治の取組について考え、表現している。<br>②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて、国民生活における政治の働きを考え、適切に表現している。 | ①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、政治への関わり方や社会の担い手としての意識などについて、考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①新学習指導要領では政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して、我が国の政治の働きに関する内容については、学習の順序が改められた。また、日本国憲法に関する学習の後に、政治の働きを学習することとなる。
- ②国や地方公共団体の政治の取組について、どのような内容の政策か、どのような過程を経て実施されたか、どのような法令に基づいているか、予算はどのように決められるかなどの問いを設けて調べたり、それらの取組と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する。

### (2) 教材や資料の工夫(都内の市の取組を事例として取り上げた例)

- ①「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組から選択して取り上げることとなる。本小単元では、社会保障の取組として子育て支援事業を取り上げた。
- ②子育て支援に関わる具体的な事業について、地域の児童センターなどを取り上げて、市役所、都庁が地域の実態や住民の意見を取り入れながら政策を決定し、国と協力して計画的に実行していることなどを、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせて、国や地方公共団体が国民生活の安定と向上のために様々な取組をしていることを理解できるようにする。
- ③地域の児童センターなど、子育て支援に関わる施設の建設に対する市議会の働きや、子育て支援事業を行うために必要な費用としての税金の働きについて調べ、考えて表現する活動を取り入れる。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①施設を利用する人々の思いや願いから学習問題をつくり、学習計画を立てる。調べる段階では、市の取組を中心に、市民との関わりや議会への提案や予算などを取り上げ、様々な取組が関連していることに着目させる。調べる方法としては、公共施設の見学や調査活動を取り入れたり、市の広報誌やHPなど各種資料を活用して調べたりする。
- ②主体的・対話的で深い学びを行うために、調べたことを関連付けて、図表などに適切に整理してまとめ、少人数グループでそれらを基に説明することで、互いの考えを深められるようにする。



### 3 小単元の指導計画 (8時間扱い)

| 過程  | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                   | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)   |
|-----|--------------------------------------|---|---|
| つかむ | ①子育て支援事業など、地方公共団体の政治の働きについて考えている。    | ○地域の児童センターや子育て支援施設の概要を調べ、幼い子供をもつ親の願いについて考え、話し合う。<br>◆幼い子供をもつ親たちは、どのような願いをもっているのだろう。<br>・子供たちが安全に楽しく遊べる場所があるとよい。<br>・親同士が気軽に接することができる場所がほしい。   | ◎地域の児童センターなどのパンフレット、市の広報やHP<br>◎施設の写真やビデオ<br>□事前にインタビューやアンケートを取っておくようにする。<br>【思①】 |
|     | ②子育て支援事業など、地方公共団体の政治の働きについて学習問題をつくる。 | ◆児童センターなどの子育て支援施設は、どのようにしてつくられるのだろう。<br>○子育て支援施設について気付いたことを話し合う。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br>市民の子育て支援への願いは、政治の働きによって、どのように実現されているのだろう。<br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・市が市民の声を聞いて話し合い、計画を立てているのかな。 | ◎地域の児童センターなどのパンフレット、市の広報やHP<br>□子育て支援施設の利用は、無料であることに気付かせる。<br>【思①】<br>【態①】        |
| 調べ  | ③施設の活動は、市民の願いを生かしていることを理解する。         | ◆子育て支援施設では、どのような活動が行われているのだろう。<br>○施設の資料や見学、インタビュー等を通して、子育て支援施設がどのような活動をしているのかを調べる。<br>・子供や親が安心して使え、何度も来たくなる活動。   | ◎施設の資料や施設の方へのインタビュー、施設の見学<br>□アンケート等で市民の願いを生かしていることを捉えさせる。<br>【知①】                |
|     | ④市民の願いを実現するための市役所の働きについて理解する。        | ◆子育て支援の願いを実現するために、市役所はどのような働きをしたのだろう。<br>○子育て支援施設ができるまでの、市役所の取組について調べる。<br>・市民からの要望や市役所の調査を基に計画を立てる。  | ◎市役所の方の話<br>◎子育て支援施設の図面等<br>□市役所の計画から実施までの経過を捉えられるようにする。<br>【知①】                  |
|     | ⑤子育て支援に対する市議会の働きについて理解する。            | ◆子育て支援に対する願いは、どこで、どのようにして実現されたのだろう。<br>○資料を活用して、市議会の働きについて調べる。<br>・選挙で選ばれた議員が、市民の代表として話し合う。   | ◎市議会議場の写真<br>◎市議会の働きの資料<br>◎市議会議員の方の話<br>【知①】                                     |
|     | ⑥子育て支援のための予算について理解する。                | ◆子育て支援のための費用は、どのようになっているのだろう。<br>○事業の費用は、どこから支払われているのか調べる。<br>・多くの税金や、国や都からの補助金が使われている。<br>○税金の集められ方と使われ方について調べる。   | ◎事業の計画書(予算額)<br>◎租税についての資料(税務署)<br>□市は国や都の予算から補助金を受けていることを捉えさせる。<br>【知①】          |
| まとめ | ⑦学習問題に対するまとめを発表する。                   | ◆子育て支援施設ができるまでには、どのようなことが行われているのだろう。<br>○これまで学習したことを関連付けて、ノートに整理してまとめ、政治の働きについて考え、話し合う。<br>・地方公共団体の政治は、市民の願いを取り入れながら、国と協力して計画的に進められている。その際、税金が事業の費用として使われ、国民の生活の安定と向上を図るために、大切な働きをしている。       | □これまで調べてきたことを観点毎に整理し、少人数グループで話し合い、考えをまとめさせる。<br>【知②】【思②】                          |
| いかす | ⑧政治の働きと自分との関わりを考える。                  | ◆政治の働きについて考えたことを生かし、わたしたちはこれからどのようにしていったらよいのだろう。<br>○自分たちの願いを生かせることはないか話し合う。<br>○将来、どのように政治と関わるとよいのか話し合う。   | ◎児童の願いが国や地方公共団体の政治に生かされた事例<br>□政治と関わる意識をもたせる。<br>【思②】【態②】                         |

|      |                                   |        |                         |
|------|-----------------------------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | わたしたちの願いを実現する政治<br>(自然災害からの復旧や復興) | 配当 8時間 | 内容 (1) アの(イ)及び(ウ)とイの(イ) |
|------|-----------------------------------|--------|-------------------------|

<主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめ、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| ①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。<br>②調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 | ①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見出し、国や地方公共団体の政治の取組について考え、表現している。<br>②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて、国民生活における政治の働きを考え、適切に表現している。 | ①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、政治への関わり方や社会の担い手としての意識などについて、考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①新学習指導要領では政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して、我が国の政治の働きに関する内容については、学習の順序が改められた。また、日本国憲法に関する学習の後に、政治の働きを学習することとなる。
- ②国や地方公共団体の政治の取組について、本小単元では、自然災害からの復旧や復興を取り上げ、どのような内容の政策か、どのような過程を経て実施されたか、どのような法令に基づいているか、予算はどのように決められるかなどの問いを設けて調べたり、それらの取組と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫(東日本大震災からのある市の復旧・復興を事例に)

- ①自然災害からの復旧や復興に関わる具体的な取組について、東日本大震災などを取り上げて、災害が発生したときに市役所や県庁が自衛隊の派遣を要請するなど国と協力しながら救援活動を行ったり、災害復旧のために物流拠点を配置したり、長期的な視野に立って地域の再興に向けて様々な施策を実行したりしていることなどを具体的に調べ、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせながら、国や地方公共団体が国民生活の安定と向上のために、自然災害の復旧や復興をすすめていることについて理解できるようにする。さらに、政治の働きについて考えたことを基に、将来、自分が政治とどのように関わるか話し合う活動を取り入れる。
- ②国・県・市の議会では、法令や条例に基づいて、復旧や復興に向けて予算を決めていることから、災害復旧や復興を行うために必要な費用としての税金の働きについて調べ、考えて表現する活動を取り入れる。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①東日本大震災で被害にあった人々の思いや願いから学習問題をつくり、学習計画を立てる。調べる段階では、国や地方公共団体の取組を中心に市民との関わりや議会への提案や予算などを取り上げ、様々な取組が関連していることに着目させる。調べる際は、映像資料や新聞記事、市や県の広報誌やHPなどの資料を活用して調べる。

### 3 小単元の指導計画 (8時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                        | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|------|---|--|--|
| つかむ  | ①東日本大震災の発生と被害にあった人々の願いについて考える。            | ○東日本大震災の被害の様子について調べる。<br>◆被災した人々は、どのような願いをもったのだろうか。<br>○東日本大震災の被害を受けた人々は、当時どのような願いをもったのかを話し合う。<br>・津波で家や建物が流されている。人々はどうしたのかな。  | ◎東日本大震災の写真・映像『3.11を忘れない』<br>◎震災に関する新聞記事<br>□被害の大きさを捉えさせる。<br>【思①】  |
|      | ②災害復旧の例を基に、災害が起きたときの政治の働きに関心を持ち、学習問題をつくる。 | ◆災害からの復旧はどのようにして行われたのだろうか。<br>○災害時の緊急対応における取組について話し合う。<br>・国や県・市が、人々のために多くの取組をしている。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br>災害からの復旧や復興への人々の願いは、政治の働きによって、どのように実現されるのだろうか。<br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・国や県が話し合いながら、計画的に行っているのかな。 | ◎災害復旧の様子(自衛隊や消防隊の働き)の資料<br>◎仮設住宅、ライフラインの整備等の資料<br>【思①】             |
| 調べる  | ③災害復旧に向けた国や地方公共団体の働きを理解する。                | ◆災害復旧に向けて、国や地方公共団体は、どのような取組を行ったのだろうか。<br>○災害復旧に向けた市や県の取組を調べる。<br>○災害復旧に向けた国の取組を調べる。<br>・市だけではなく、県や国もすぐに対策に取り組んだ。   | ◎復旧までの流れ(復興庁HP 県、市のHP、記事等)<br>□人々の願いを基に、速やかに取り組んだことを捉えさせる。<br>【知①】 |
|      | ④国会や県、市議会の働きについて理解する。                     | ◆被災地の復旧や復興に向けて、議会ではどのようなことが話し合われたり決められたりしたのだろうか。<br>○資料を基に、国会や県、市議会の取組を調べる。<br>・国(政府)は、復旧のための法律や予算を成立させた。  | ◎各議会の内容に関する資料(記事、広報、HP等)<br>□法令を具体的に取り上げる。<br>【知①】                 |
|      | ⑤災害復旧や復興に向けた予算について理解する。                   | ◆災害の復旧や復興のための予算は、どのようにしているのだろうか。<br>○復旧の費用は、どこから支払われているのか調べる。<br>・多くの税金や、国や県からの補助金が使われている。<br>○税金の集められ方と使われ方について調べる。   | ◎租税についての資料(税務署)<br>◎復旧・復興に向けた予算が成立するまでの流れや予算額<br>【知①】              |
|      | ⑥被災地の復興に向けた、県や市の取組を理解する。                  | ◆被災地の復興に向けて、県や市はどのような取組を行っているのだろうか。<br>○県や市の復興に向けた取組を調べる。<br>○人々の復興への願いと取組を調べる。<br>・市民も県や市の支援を受けながら、大震災からの復興や、新しいまちづくりを目指している。   | ◎復興に関する資料(県や市の計画、記事、広報、HP)<br>□市民と県や市が協力して取り組んでいることを捉えさせる。<br>【知①】 |
| まとめる | ⑦学習問題に対するまとめを発表する。                        | ◆復旧や復興に向けて、どのようなことが行われたのだろうか。<br>○これまで学習したことを関連付けて、ノートに整理してまとめ、政治の働きについて考え、話し合う。<br>・東日本大震災からの復旧や復興に向けて、国・県・市は法律を制定したり、予算を執行したりするなどして、計画的に地域の再建や人々の生活の安定を図る取組を行っている。   | □これまで調べてきたことを観点毎に整理し、少人数グループで話し合い、考えをまとめさせる。<br>【知②】【思②】           |
| いかす  | ⑧政治の働きと自分との関わりを考える。                       | ◆政治の働きについて考えたことを生かし、わたしたちの住むまちを災害に強いまちにするにはどのようにしていったらよいのだろうか。<br>○災害に強いまちづくりについて調べ、話し合う。<br>○将来、どのようなことができるのか考え、話し合う。   | ◎災害に強いまちづくりに関する具体的な資料<br>□災害に強いまちづくりを通して政治と関わる意識をもたせる。<br>【思②】【態②】 |

|      |               |        |                         |
|------|---------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | 縄文のむらから古墳のくにへ | 配当 7時間 | 内容 (2) アの(ア)及び(イ)とイの(ア) |
|------|---------------|--------|-------------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現、大和朝廷の支配の広がりを捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|--|--|
| ①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷（大和政権）の支配の広がりを理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、世の中の様子がむらからくにへと変化したことを理解している。 | ①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子に着目して、問いを見出し、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現、大和朝廷の支配の広がりについて考え、表現している。<br>②狩猟・採集の生活や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を比較したり関連付けたり総合したりして、世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。 | ①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子に着目し、遺跡や遺物について地域にある博物館や資料館などを利用して調べたり、身近な地域に残されている古墳を観察・見学したり、当時の様子や人物の働きを資料で調べたりして、年表などに適切に整理してまとめ、むらからくにへと変化したことを理解する。
- ②世の中の様子がむらからくにへと変化したことを理解できるようにする際、国の形成や地域の統一の様子を物語る神話・伝承を取り上げ、国の形成に関する当時の人々のもの見方や考え方に関心をもてるようにする。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①縄文時代と弥生時代の生活を比較し、社会的事象の見方・考え方(時期や時間の経過)を働かせ、米づくりが伝わったことを契機に狩猟生活から農耕生活、共同生活から指導者の出現、不安定な生活から安定した生活へと変化したことを具体的に捉えることができるようにする。
- ②卑弥呼が魏に使いを送り、大陸から渡来人が渡ってきた頃の中国や朝鮮半島と日本との位置関係を示す地図、大和朝廷が国土の統一を進めた頃の様子を表した地図や年表などを活用して、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり、時期や時間の経過)を働かせて、稲作や大陸文化が伝わって世の中の様子がむらからくにへ変換し、やがて大和朝廷により国土が統一されたことをまとめられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①米づくりが伝わったことによる社会の変化を学習問題として設定し、学習計画を立てることで、児童が見通しをもって、主体的な学習を展開できるようにする。また、大和朝廷（大和政権）による国土の統一を調べていく過程では、神話・伝承として古事記や日本書紀におけるヤマトタケルノミコトの話、風土記などを活用し、我が国の歴史に対し一層親しみをもてるようにする。
- ②歴史の学習の初めの小単元であり、学習問題づくりをはじめ、問題解決的な学習を丁寧に展開できるようにする。また、自分の考えをまとめる段階において、少人数グループで自分の考えを基に話し合う活動を取り入れる。

### 3 小単元の指導計画 (7時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                            | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|------------------|---|---|--|
| つ<br>か<br>む      | ①縄文のむらのくらしの様子について考える。                         | ◆縄文のむらに住む人々は、どのようなくらしをしていたのだろう。<br>○三内丸山遺跡や出土品の写真、「三内丸山遺跡の人々の1年の生活」の図などを見て、当時の人々がどのようにくらししていたのか話し合う。  | ◎三内丸山遺跡の写真<br>◎縄文土器や様々な道具(写真)<br>◎三内丸山遺跡の人々の1年の生活の図<br>【思①】                      |
|                  | ②米づくりが始まった頃の弥生のむらのくらしの様子について考えている。            | ◆米づくりが始まった頃のむらや人々は、どのような様子だったのだろう。<br>○遺跡や出土品の写真、米づくりの様子の想像図を見て、米づくりが始まり、人々のくらしの様子がどのように変化したのか、気付いたことを話し合う。   | ◎米づくりの様子の想像図<br>◎弥生土器や様々な道具(写真)<br>◎米づくりが日本に伝わった道の地図<br>【思①】                     |
|                  | ③縄文のむらと弥生のむらの様子を比較して世の中の様子の変化に関心を持ち、学習問題をつくる。 | ◆縄文時代と弥生時代の想像図を比べると、何がどのように変わっているのだろう。<br>○2枚の想像図を比べて、気付いたことを話し合う。<br>・弥生時代では、食べ物を安定して手に入れられた人も多い。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">米づくりが始まり、人々のくらしや世の中はどのように変わったのだろう。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・人々がまとまって生活し、リーダーが現れたのではないか。 | ◎三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の想像図<br>◎年表<br>□第1・2時の資料も活用し、様々な視点で比較させる。【思①】<br>【態①】              |
| 調<br>べ<br>る      | ④米づくりの広がりにより、むらぐくにへ発展したことを理解する。               | ◆米づくりの広がりによって、むらの様子はどのように変わったのだろう。<br>○米づくりの広がりによって、むらや人々の生活の様子がどのように変わったのかを調べ、話し合う。<br>・むら同士の争いから、強い力をもつかしらが発見された。   | ◎吉野ヶ里遺跡の写真や想像図<br>◎出土品の写真<br>◎卑弥呼についての記述<br>◎日本と中国大陸の地図<br>【知①】                  |
|                  | ⑤古墳の大きさや出土品の様子から、王や豪族の力の大きさについて理解する。          | ◆古墳は誰が何のために、どのようにしてつくられたのだろう。<br>○大仙(仁徳陵)古墳の写真や、古墳を築いている様子の想像図などを基に、古墳づくりの目的、王や豪族たちの力の大きさについて考え、話し合う。<br>・王や豪族は、自分の力を示すため古墳をつくらせた。  | ◎大仙(仁徳陵)古墳の写真とデータ<br>◎古墳を築いている様子の想像図<br>◎全国の古墳の分布図<br>◎石室や出土品の写真<br>【知①】         |
|                  | ⑥大和朝廷(大和政権)による国土の統一について理解する。                  | ◆国土は、どのように統一されていったのだろう。<br>○大和朝廷(大和政権)の力が各地に広がり、国土がどのように統一されていったのかを調べ、話し合う。<br>・大和朝廷は、九州から東北地方南部までの豪族や王たちを従え、国土を統一していった。  | ◎大和朝廷(大和政権)の広がり<br>の地図<br>◎神話(古事記、日本書紀)<br>□ヤマトタケルノミコトの話(神話)を読み、関心をもたせる。<br>【知①】 |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑦学習問題に対するまとめを発表する。                            | ◆人々の生活や社会は、どのように変化していったのだろう。<br>○学習問題に対して、ここまで調べたことを関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・狩猟・採集の生活から、稲作が伝わって農耕の生活となり人々の生活や社会の様子は変化した。むらは次第にくくにへと発展し、各地に大きな力をもつ王や豪族が現れた。やがて大和朝廷(大和政権)の力が各地に広がり、国土が統一されていった。</div>                       | □既習事項を基に、少人数グループで話し合った後、各自の考えをまとめ、発表させる。<br>【知②】【思②】                             |

|      |           |        |                         |
|------|-----------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | 天皇中心の国づくり | 配当 6時間 | 内容 (2) アの(イ)及び(ロ)とイの(ウ) |
|------|-----------|--------|-------------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、聖徳太子、中大兄皇子や中臣鎌足、聖武天皇が行った国づくりの様子を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| ①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、聖徳太子、中大兄皇子や中臣鎌足、聖武天皇が行った国づくりの様子を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。 | ①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子に着目して、問いを見出し、聖徳太子、中大兄皇子や中臣鎌足、聖武天皇が行った国づくりの様子について考え、表現している。<br>②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①ここでは、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇中心の政治が確立されたことを理解することを意図している。
- ②大陸文化の摂取については、聖徳太子の法隆寺建立や小野妹子ら遣隋使を隋に派遣することにより政治の仕組みなど大陸文化を積極的に摂取したこと、大化の改新については、中大兄皇子や中臣鎌足による政治の改革や天皇中心の国づくりが進められたこと、大仏造営については聖武天皇の願いと行基の協力によって東大寺の大仏が造られ、天皇中心の政治が全国に及んだことや、鑑真が来日し、仏教の発展に大きな働きをしたことなどを理解する。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①世界地図などを活用して、遣隋使、遣唐使の働きを調べ、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせて、大陸文化などを取り入れて、我が国の政治や文化に様々な影響があったことなどを捉えられるようにする。
- ②古墳時代の古墳と法隆寺や奈良の大仏などの建築物を比較して、社会的事象の見方・考え方(時期や時間の経過)を働かせながら、世の中の様子が大陸からの影響で変化していったことを捉えられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①大陸文化の影響を受けた法隆寺を建てた聖徳太子が目指した国づくりについて学習問題を設定し、年表を活用して学習計画を立てることにより、児童が見通しをもって、主体的に大陸の文化や政治を取り入れながら天皇中心の国づくりを目指したことを調べられるようにする。
- ②「調べる」段階で毎時間の問いに基づいて調べ、分かったことや考えたことについて見出しを付けてまとめ、話し合う活動を取り入れることにより、各自の考えを深め、学習問題の解決へとつなげられるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程  | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                             | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|-----|--|--|--|
| つかむ | ①聖徳太子の考えや、聖徳太子が天皇中心の国づくりを目指したことを理解する。          | ○聖徳太子が法隆寺を建てた理由を予想する。<br>◆法隆寺を建てた聖徳太子は、どのような世の中をつくらうとしたのだろう。<br>○肖像画や年表を見て、気付いたことを話し合う。<br>○聖徳太子の目指した国づくりと大陸の政治、文化との関係を調べ、考えたことを話し合う。<br>・天皇中心の国づくりを目指して、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。遣隋使も派遣した。  | ◎法隆寺の写真<br>◎聖徳太子の肖像画<br>◎聖徳太子に関わる年表<br>◎冠位十二階や十七条の憲法<br>◎遣隋使の通った道筋の地図<br>□法隆寺が大陸文化の影響を受けていることに着目させる。<br>【知①】 |
| む   | ②聖徳太子の死後の国づくりに関心を持ち、学習問題をつくる。                  | ◆聖徳太子が亡くなった後は、どうなったのだろう。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">聖徳太子の死後、誰がどのような国づくりを進めたのだろう。</div> ○学習問題に対して予想したことを出し合い、学習計画を立てる。   | ◎聖徳太子の死後～奈良時代までの年表 【思①】<br>□蘇我氏の力に着目し、聖徳太子の死後の国づくりについて予想させる。<br>【態①】   |
| 調べる | ③大化の改新の後、中大兄皇子や中臣鎌足によって天皇中心の国づくりが行われたことを理解する。  | ◆中大兄皇子や中臣鎌足は、どのような国づくりを進めたのだろう。<br>○大化の改新と天皇の力の広がりについて調べ、考えたことを話し合う。<br>・聖徳太子の死後、中大兄皇子や中臣鎌足が、天皇中心の国づくりを進めた、<br>○分かったことや考えたことを見出しでまとめる。   | ◎大化の改新の方針と政治の仕組みの資料<br>◎律令制の税の仕組みの資料<br>□政治や税の仕組み(天皇の力の広がり)を通して、天皇中心の国づくりを捉えさせる。<br>【知①】                     |
| る   | ④大仏づくりの様子を調べ、聖武天皇の願いや力の大きさについて理解する。            | ◆聖武天皇は、どのような願いから大仏づくりを行ったのだろう。<br>○この頃の世の中の様子を調べ、聖武天皇の願いについて話し合う。<br>・聖武天皇は、仏教の力によって世の中の不安を取り除き、国を守ろうと考えた。<br>○大仏づくりの様子と行基の働きを調べる。<br>○分かったことや考えたことを見出しでまとめる。  | ◎東大寺の大仏の写真<br>◎国分寺の分布図<br>◎大仏づくりの資料<br>◎行基の肖像画<br>□大仏づくりは国家的な大事業で、天皇中心の政治が全国に及んだことを捉えさせる。<br>【知①】            |
| る   | ⑤遣唐使や鑑真の来日、正倉院の宝物などを調べ、日本と大陸との交流とその影響について理解する。 | ◆聖武天皇は、どのような目的で日本と大陸との交流を行ったのだろう。<br>○遣唐使や鑑真の来日、正倉院の宝物などを調べ、大陸との交流の様子について話し合う。<br>・日本は唐との交流で、大陸文化を取り入れた。<br>・鑑真は6回目の渡航で来日し、仏教を広めた。<br>○分かったことや考えたことを見出しでまとめる。  | ◎鑑真や唐招提寺の写真<br>◎正倉院の宝物の写真<br>◎宝物の通った道の世界地図<br>□当時、大陸への航海は命がけで、危険を乗り越え文化を取り入れたことを理解させる。<br>【知①】               |
| まとめ | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                             | ◆聖徳太子や聖武天皇は、どのような国をつくることを目指したのだろう。<br>○学習問題に対して、ここまで調べ、考えたことを振り返り、歴史新聞にまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・聖徳太子は天皇中心の新しい国づくりを目指した政治を行い、その死後、中大兄皇子や中臣鎌足が天皇中心の国づくりを進めた。その後、聖武天皇は国分寺の建立や大仏づくりを行うなど、仏教の力で社会の不安をしずめ、国を治めようとした。</div> | □人物の働きや文化遺産を中心に、ここまで学んできたことを、自分の言葉で歴史新聞にまとめさせる。<br>【知②】【思②】  |

|      |        |        |                       |
|------|--------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 貴族のくらし | 配当 4時間 | 内容(2)アの(ウ)及び(イ)とイの(ア) |
|------|--------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、貴族の屋敷や生活の様子、かな文字を使った文学作品、大和絵などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、貴族の日常の生活や行事などの様子、紫式部や清少納言の作品を捉え、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| ①貴族の屋敷や生活の様子、文学作品、大和絵などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貴族の日常の生活や行事などの様子、紫式部や清少納言がかな文字を使って優れた文学作品をつくりだしたことを理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、日本風の文化が生まれたことを理解している。 | ①貴族の屋敷や生活の様子、かな文字を使った文学作品、大和絵などに着目して、問いを見出し、貴族の日常の生活や行事などの様子、紫式部や清少納言の作品について考え、表現している。<br>②貴族の屋敷や生活の様子、かな文字を使った文学作品、大和絵などを関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。 | ①貴族の屋敷や生活の様子、かな文字を使った文学作品、大和絵などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①現行学習指導要領において、貴族の生活は内容(1)イに含まれていたが、新学習指導要領では、内容(2)ア(イ)「大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたこと」と、内容(2)ア(ウ)「貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解すること」とに内容が分けられたことを踏まえ、新たに二つの小単元として位置付けた。
- ②貴族の服装や建物、日常の生活や行事などの様子や紫式部・清少納言の作品について絵画などの資料から生活や文化に関する情報を適切に読み取り、調べたことを歴史新聞などにまとめるとともに、それらの生活や文化には、現在にまで受け継がれているものがあることに着目し、この頃の文化の特色を考え、これからも大切にしていこうとする態度を育成する。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①十二単や貴族の服装、藤原道長の短歌、紫式部や清少納言の作品などから貴族の生活の様子を想像したり、寝殿造の屋敷における貴族の生活の様子を調べたりする学習を通して、それらの歴史的事象を関連付けたり総合したりして、この頃の日本風の文化の特色を考えられるようにする。
- ②京都に都が置かれた頃、当時の貴族が行っていた年中行事や和歌、かな文字を使ってつくり出した優れた文学作品、貴族の生活を描いた大和絵、囲碁や双六、百人一首などの日本風の文化は、現在にまで受け継がれているものもあることを調べ、この頃の文化を、児童一人一人がこれからも大切にしていこうとする態度へとつなげられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①児童が主体的に学ぶには、社会的事象への問いをもち続けることが求められる。そのためには、児童が興味・関心をもてるような学習問題づくりが大切である。藤原道長の短歌や寝殿造の屋敷の図等の資料を活用し、貴族の生活について想像させた上で学習問題をつくり、学習計画を立てることで活動の見通しをもち、主体的な学習を展開できるようにする。
- ②社会的事象を比較・関連させて考えたり、その考えを説明し交流したりする活動を通して、児童が対話的に学ぶことができる。資料から貴族の服装や和歌、年中行事等について調べ、その特色を考えさせるようにする。そして、児童一人一人が考えた特色について少人数グループでの話し合いや意見交換等を通して、互いの考えを練り上げていく活動を取り入れる。それにより、社会的事象について様々な視点をもって捉えられるようにし、多角的に考える力を高めていく。



3 小単元の指導計画 (4時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                             | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)   |
|------------------|--|--|---|
| つ<br>か<br>む      | ①藤原道長が詠んだ歌や寝殿造の屋敷の図から、貴族の生活の様子に関心をもち、学習問題をつくる。 | ○望月の歌を読み、この歌が詠めたわけを調べる。<br>・藤原道長はかなり大きな力をもっていたのだろう。<br>・天皇に変わり貴族が政治の中心になったから。<br>◆貴族は、どのようなくらしをしていたのだろう。<br>○寝殿造の屋敷や貴族の生活の様子を調べる。<br>・屋敷や庭が大きい。 ・庭で遊んでいる。<br>・蹴鞠をしている。 ・華やかなくらしをしている。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">貴族のくらしから、どのような文化が生まれたのだろう。</div><br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・華やかな生活の中で、様々な文化を楽しんでいたのかな。  | □都が平安京に変わったことを確認する。<br>◎藤原道長の肖像画と詠んだ歌<br>◎寝殿造の屋敷の図<br>◎平等院鳳凰堂の写真<br>□貴族が政治の中心になり、大きな力をもつとともに、貴族は華やかな生活をしていることを捉えさせる。<br><br>【思①】<br><br>◎代表的な貴族の文化の絵<br><br>【態①】                              |
| 調<br>べ<br>る      | ②③貴族の生活や文化から、日本風の文化が生まれたことを理解する。               | ◆貴族のくらしや文化には、どのようなものがあるのだろう。<br>○写真や図、文書等の資料を基に、どのような行事や文化が生まれたのかを調べる。<br>・束帯や十二単 ・大和絵 ・かな文字 ・百人一首<br>・源氏物語(紫式部) ・枕草子(清少納言)<br>・季節の行事 ・囲碁 ・双六 など<br>○調べたことを基に、この頃の貴族の文化の特色について考え、分かったことをノートにまとめる。<br>・この時代には、貴族の華やかな生活を通して、これまでとは違った新しい文化が生まれた。  | ◎貴族の生活の様子や文化について分かる写真や図、文章資料等<br>◎年中行事の一覧表<br>□貴族の生活の様子や服装、年中行事、和歌やかな文字などに着目して日本風の文化が生まれたことを考えられるようにする。<br><br>【知①】   |
| ま<br>と<br>め<br>る | ④学習問題に対する考えを話し合い、作品にまとめて発表する。                  | ◆華やかな貴族のくらしの中で、どのような文化が生まれたのだろう。<br>○学習問題に対して、ここまで調べたことを関連付けて、日本風の文化の特色について、少人数グループで話し合い、考えをまとめて発表する。<br>・貴族の華やかなくらしの中で、かな文字や十二単のような服装等の文化が生まれた。<br>・年中行事や七夕、囲碁、双六等、現代にまで受け継がれている文化も生まれた。<br>○日本風の文化の特色について、学習したことを基にしたキャッチコピーを一人一人が考え、それを見出しとして活用し、歴史新聞にまとめる。<br>・「貴族がつくった 日本風の文化」<br>・「現代にも受け継がれる 貴族の文化」<br>・「これからも大切にしよう 日本風の文化を」<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">・貴族のくらしの中で、これまで取り込んできた大陸の文化を基に、新たな日本風の文化が生まれた。その中には、現在にまで受け継がれている文化も多く見られ、これからもそのような文化を大切にしていきたい。</div> | □少人数グループでは、調べて分かったことを出し合うのではなく、この頃生まれた日本風の文化について、どのように考えるのかを話し合うようにする。<br><br>【知②】<br><br>□キャッチコピーを見出しとして活用し、歴史新聞にまとめさせる。<br>□これまで受け継がれてきた文化を、これから自分たちも大切にしていこうという気持ちをもたせたい。<br><br>【思②】 【態②】 |

|      |        |        |                       |
|------|--------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 武士の世の中 | 配当 6時間 | 内容(2)アの(エ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|--------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、武士による政治の仕組みや鎌倉幕府の支配の広がりを捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| ①源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、武士による政治の仕組みや鎌倉幕府の支配の広がりを理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。 | ①源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いに着目して、問いを見出し、武士による政治の仕組みや鎌倉幕府の支配の広がりについて考え、表現している。<br>②源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①武士が力を付けてきたことや源平の戦いにおける源義経の活躍の様子、源頼朝の業績や元との戦いの様子などに着目して、源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士による政治の仕組みをつくり上げたことや、元との戦いでは、北条時宗が九州の御家人を中心に全国の武士を動員し、元の攻撃を退けたこと、幕府が全国的に力をもってきたことなどが分かるようにし、鎌倉に幕府が置かれた頃、武士による政治が始まったことを理解できるようにすることを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

①源氏と平氏の戦いが行われた場所や源平の勢力の変化、鎌倉幕府が開かれた場所、守護や地頭の配置、元との戦いの様子について、日本地図や世界地図を活用し、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせながら、鎌倉に幕府が置かれた頃、武士が力をもち、武士による政治が始まったことを捉えられるようにする。  
②源平の戦いにおける源義経の活躍の様子やエピソードを調べたり、人物年表やエピソードから源頼朝の業績について考えたり、元との戦いの様子から武士の戦いの様子を調べたりして、この頃の世の中の様子を人物の働きや文化遺産を中心に、具体的に捉えられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

①武士の政治の始まりについての学習問題を設定し、学習計画を立てることにより、児童が見通しをもって、主体的な学習が展開できるようにする。さらに、まとめる段階では、源平の戦いの様子や、源頼朝がつくった武士による政治の仕組みなどに着目し、武士はどのような政治を行い、世の中をどう変えたのかについて問いを設定する。  
②まとめる段階では、まず、児童一人一人が学習問題に対する自分の考えを書くようにする。その後、ペアや少人数グループで資料や調べたことを根拠として話し合う活動や、ホワイトボードを用いて考えをまとめる活動を取り入れ、最終的に自分の考えを文章等で表現することにより、互いに考えを深め、広げられるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                               | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|------------------|--|---|--|
| つ<br>か<br>む      | ①平治物語絵巻の様子から、貴族に変わって武士が力を付けてきたことに興味をもち、学習問題をつくる。 | ○「平治物語絵巻」を読み取り、どのような様子か調べる。<br>・武器を持っている武士たちが道の真ん中を歩いている。<br>・貴族が、鎧を着た武士たちに道を譲っている。<br>◆貴族が栄えた後、どのような世の中になったのだろう。<br>○平安時代の終わり頃から、どのような人々が力を強めてきたのかを考える。<br>・貴族の力が弱まり、貴族ではない人が力を付けてきた。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">武士はどのように力を強め、どのような世の中をつくったのだろう。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・戦いを通して力を付け、政治の仕組みを整えたのかな。 | □既習事項から、貴族が権力をもっていたことを振り返らせる。<br>◎「平治物語絵巻(信西の巻)」<br>□貴族の力が弱まり、武士が力を強めてきたことに気付くようにする。<br>□「武士」の定義を確認する。<br>【思①】   |
| 調<br>べ<br>る      | ②源氏や平氏が力を強めたことを調べ、源平の戦いで勝利した源氏が政治の中心になったことを理解する。 | ◆源氏と平氏はどのように戦い、誰が、どのように力を強めていったのだろう。<br>○平清盛の言葉から、当時の武士について考える。<br>・貴族ではなく、平氏が政治の中心になっている。<br>○源平の戦いや源義経の働きについて調べる。<br>・平氏が負けて、どんどん西に追いやられている。<br>・源義経が活躍し、源氏の力がどんどん広がっている。<br>○源平の戦いに勝ち、源頼朝が力を強めたことを調べる。   | ◎平清盛の人物画<br>◎平清盛の言葉<br>◎源平の戦いの年表<br>◎源氏と平氏の勢力図<br>◎源義経のエピソード資料<br>□源氏の力が拡大する様子を捉えられるようにする。<br>【知①】   |
| 調<br>べ<br>る      | ③④源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士による政治の仕組みをつくり上げたことを理解する。        | ◆源頼朝は、どのような政治の仕組みを整えたのだろう。<br>○鎌倉に幕府を開いたことについて調べ、理由を考える。<br>・鎌倉は地形に恵まれ、朝廷の力が及ばないから。<br>○鎌倉幕府の仕組みや守護・地頭の配置について調べ、白地図にまとめる。<br>・地方に守護や地頭を配置し、幕府の力を広めていった。<br>○源頼朝は、どのような政治を進めようとしたのかを考え、話し合う。<br>◆源頼朝は、どのようにして武士たちを従えたのだろう。<br>○「ご恩」と「奉公」が、どのような関係かを調べる。<br>○源頼朝が開いた鎌倉幕府による政治がどのようなものであったかを考え、話し合う。<br>・「ご恩」と「奉公」の関係を築き、武士を従えた。   | ◎朝廷と幕府の配置図<br>◎鎌倉幕府の仕組みの図<br>◎守護・地頭の配置図<br>□京都から離れた鎌倉に幕府を開いたことや、全国に守護・地頭を置き、勢力を及ぼしていたことを捉えられるようにする。<br>【知①】<br>□「ご恩」と「奉公」の関係を図で表し、関係を捉えやすくする。<br>◎「政子の訴え」の資料<br>◎「鉢の木の物語」の資料<br>【知①】 |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑤元との戦いの様子を調べ、その後、幕府と武士の関係がくずれていったことを理解する。        | ◆北条時宗は、どのようにして元の軍を退けたのだろう。<br>○元の勢力範囲や元との戦いの様子を調べる。<br>○元との戦いに参加した御家人は、どのような働きをしたのかを調べる。<br>・防塁を築いた。・多くの御家人が集まって戦った。<br>○元の日本への襲来を、北条時宗がどのように退けたのかについて調べる。<br>・幕府は多くの御家人に指示を出して戦わせたり、防塁を造らせたりして退けた。<br>○恩賞をもらえなかった武士と幕府との関係がどうなったのかを考え、話し合う。<br>・武士たちは幕府に不満をもち、関係がくずれていった。  | ◎「蒙古襲来絵詞」<br>◎北条時宗の肖像画<br>◎当時の元の勢力地図<br>□元の日本への襲来に対し、北条時宗が多くの御家人を動員したことを捉えられるようにする。<br>◎戦いに参加した御家人の資料<br>◎防塁の写真<br>□元との戦いの後、ほうびをもらえなかった御家人が、幕府に不満をもったことを捉えさせる。<br>【知①】               |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                               | ◆武士によって世の中はどのように変わり、どのような政治を行っていったのだろう。<br>○学習問題に対して、調べたことを関連付けて話し合い、考えを文章にまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・源平の戦いに勝った源氏が力を強め、源頼朝は全国に守護や地頭を置いたり、鎌倉に幕府を開いたりして、武士による政治を始めた。また、幕府は武士たちと「ご恩」と「奉公」の関係を築いた。元との戦いでは全国の武士を動かし、元の軍を退けた。</div>   | □ホワイトボードを活用して、少人数グループで話し合い、考えをまとめるようにする。<br>【知②】【思②】   |

|      |           |        |                       |
|------|-----------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 今に伝わる室町文化 | 配当 5時間 | 内容(2)アの(オ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|-----------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、今に受け継がれる文化を捉え、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| ①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画である金閣や銀閣、水墨画などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、今に受け継がれる文化を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。 | ①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画である金閣や銀閣、水墨画などに着目して、問いを見出し、今に受け継がれる文化について考え、表現している。<br>②京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画である金閣や銀閣、水墨画などを関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。 | ①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画である金閣や銀閣、水墨画などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①足利義満は金閣を、足利義政は銀閣をそれぞれ建てたこと、それらは現在も保存されていること、銀閣の東求堂の書院造の部屋には、ふすまや畳、違い棚が作られていたこと、それらは現在の和風建築に生かされていることなど、また、絵画については、雪舟により我が国を代表する水墨画の作品が生み出されたこと、それらの中には、国宝に指定され現在も保存されているものがあることや水墨画は現在も人々に親しまれていることを手掛かりに、京都の室町に幕府が置かれた頃、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解することを意図している。
- ②代表的な建造物や絵画について調べるとともに、この頃に生まれた能、茶の湯、生け花、盆踊りなど、今なお多くの人々に親しまれていることを関連的に取り上げることも考えられる。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①金閣や銀閣などが現在も保存されていること、銀閣の東求堂の書院造の部屋のつくりは現在の和風建築に生かされていること、雪舟の水墨画は現在も人々に親しまれていることなどについて、社会的事象の見方・考え方(時期や時間の経過)を働かせて、この頃の文化と現在とのつながりを捉えられるようにする。
- ②小単元の導入で、既習事項である平安時代や鎌倉時代の文化の特色を振り返り、金閣や銀閣などの写真と比較しながら学習問題づくりへとつなげられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①既習の時代の文化を振り返った後で、室町時代の文化についての学習問題を設定し、学習計画を立てる。それにより、児童が見通しをもって、主体的な学習が展開できるようにする。さらに、問題解決を行う過程では、代表的な建造物や絵画、この頃の文化の特色、今に受け継がれているものなどに着目した問いを設定する。
- ②写真や絵画、映像資料などを活用して調べるとともに、書院造の影響を受けている伝統的な家屋を実際に観察するなどして、児童がこの頃の文化に関心をもてるようにする。また、京都で生まれた文化が日本の各地に広まっていた様子についても、雪舟の水墨画の旅などの写真や地図、映像資料などを活用して捉えられるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (5時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                            | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)   |
|------------------|---|---|---|
| つ<br>か<br>む      | ①室町時代の文化に関心を持ち、学習問題をつくる。                      | ○平安時代と鎌倉時代の文化の特色を振り返る。<br>◆平安時代や鎌倉時代には、どんな文化が栄えていたのだろう。<br>・平安時代は、日本独自の華やかな国風文化だった。<br>・鎌倉時代は、武士が中心の力強い文化だった。<br>○金閣・銀閣・東求堂同仁齋の書院造について調べる。<br>・金閣や銀閣は現在も保存され、観光客の人気の高い。<br>・書院造の部屋には、ふすまや畳などがあり、現在の和室みたいになっている。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。 | ◎大和絵・紫式部(写真)<br>◎金剛力士像・源頼朝像(写真)<br>□教科書やノートを読み返し、既習事項を思い起こさせる。<br>◎金閣(写真)・足利義満像<br>◎銀閣(写真)・足利義政像<br>◎東求堂同仁齋(写真)<br>◎年表<br>□既習の文化と比較して、室町時代の文化について考えさせる。<br>【思①】 |
| 調                | ②現在まで続く水墨画や茶の湯、生け花、能や狂言などについて調べ、室町文化の特色を理解する。 | ◆水墨画や茶の湯、生け花は、どのようなものだろう。<br>○書院造の部屋の写真から、水墨画や茶の湯、生け花について調べる。<br>○調べたことを基に、それらの文化がどのようにして現在まで続いているのかを考え、話し合う。<br>・形を変えたり発展したりして現在に受け継がれた。<br>◆室町時代には、他にどのような文化が生まれたのだろう。<br>○田楽や猿楽から発展した能や狂言について調べる。<br>・人々の生活を題材にして、商人や庶民に広まった。      | ◎書院造(東求堂同仁齋)(写真)<br>□書院造を手掛かりに、水墨画や茶の湯、生け花に着目させる。<br>◎水墨画と雪舟(写真)<br>◎茶の湯や生け花の様子(写真)<br>◎猿楽・田楽(写真)<br>◎能・狂言(写真)<br>□猿楽や田楽から能や狂言が生まれたことを捉えさせる。<br>【知①】            |
| べ<br>る           | ③室町文化の地方への広がりについて調べ、現在まで受け継がれていることを理解する。      | ◆なぜ京都で生まれた室町文化が、今でも残っているのだろう。<br>○祇園祭が全国に広まり、現在も続いていることを調べる。<br>○食習慣や食べ物など、当時の生活習慣が現在の生活にまで続いていることを調べる。<br>・1日3回食事をとる習慣は、この頃から始まった。<br>○室町文化が全国に広まっていった理由を考え、話し合う。<br>・応仁の乱や、大名や僧などにより地方へ広まった。<br>・商人や庶民によって、各地で受け継がれていった。            | ◎祇園祭(映像)<br>◎全国にある祇園祭(地図)<br>◎応仁の乱の資料<br>□祇園祭は全国で行われていることを調べ、誰がどのように広めていったのかを考えさせる。<br>□この頃の生活習慣が、時代を超えて受け継がれ現在でも生活習慣として定着していることに気付かせる。<br>【知①】                 |
| ま<br>と<br>め<br>る | ④⑤学習問題に対するまとめを発表する。                           | ◆室町時代にはどのような文化が生まれ、どのような人たちに親しまれたのだろう。<br>○学習問題に対して、調べたことを関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。  | □自分の考えをノートに書き出した後、少人数グループで根拠を基に話し合い、まとめたことを学級全体で発表させる。<br>【知②】【思②】【態②】  |
|                  |   | ・室町時代には、今につながる文化が生まれ、貴族や武士、民衆など様々な人々に親しまれ、その後、全国各地へ広がっていった。その結果、今でもなお、室町時代の文化は、多くの人たちに親しまれている。  |   |

|      |             |        |                         |
|------|-------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | 戦国の世から天下統一へ | 配当 6時間 | 内容 (2) アの(㉓)及び(㉔)とイの(㉗) |
|------|-------------|--------|-------------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、世の中の様子、織田信長や豊臣秀吉が行った政策を捉え、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| ①キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一について遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、世の中の様子、織田信長や豊臣秀吉が行った政策を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、織田信長や豊臣秀吉の働きにより戦国の世が統一されたことを理解している。 | ①キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一に着目して、問いを見出し、世の中の様子、織田信長や豊臣秀吉が行った政策について考え、表現している。<br>②世の中の様子、織田信長や豊臣秀吉が行った政策を比較したり関連付けたりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。 | ①キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①ザビエルが日本にキリスト教を伝え、我が国に広がったことや、ポルトガル人によって日本に伝えられた鉄砲を多用するなどして、織田信長が短い期間に領土を拡大したこと、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことを手掛かりに、群雄割拠の状態から、織田・豊臣により戦国の世が統一されたことを理解することを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①長篠の戦いの際の長篠城の様子やその頃の合戦の数と、豊臣秀吉の築いた大坂城の様子やその年代の合戦の数を比較し、誰が、どのように戦国の世を統一し、平和な時代に近付けたのか問題意識を高めるようにする。
- ②キリスト教の伝来の様子を世界地図などの資料で調べ、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせながら、当時の世界と日本の動きのとの関連について考えられるようにする。
- ③戦国の世の社会の様子や織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を進め天下を統一した様子について、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせて、戦国の世の統一に果たした織田信長や豊臣秀吉の役割を考えられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①戦国の世が統一されたことについての学習問題を設定し、年表を活用して学習計画を立てることにより、児童が見通しをもって、主体的にその後の学習活動を展開できるようにする。さらに、まとめる段階では、当時の世の中の様子や、織田信長、豊臣秀吉の天下統一のための政策などに着目した問いを設定する。
- ②織田信長と豊臣秀吉の業績に関する情報を整理するために、思考ツール(ベン図)を活用し、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考えられるようにする。
- ③主体的・対話的で深い学びを行うために、一人一人が自分の考えをもった上で、ペアや少人数のグループで資料を根拠として話し合う活動や、ホワイトボードを用いて考えをまとめる活動を取り入れ、最終的に自分の考えを文章等でまとめ、表現することにより、互いに考えを深め、広げられるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                               | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)   |
|------------------|--|---|---|
| つ<br>か<br>む      | ①長篠合戦図と豊臣期大坂図屏風の城周辺の様子を比較し、世の中の様子が劇的に変化したことを考える。 | ○長篠合戦図の城周辺の様子を見て、気付いたことを話し合う。<br>○豊臣期大坂図屏風の城周辺の様子を見て、気付いたことを話し合う。<br>・にぎやかで活気のある雰囲気。<br>◆二つの城の様子にどのような違いがあるのだろう。<br>○資料を見て、国内の戦いの数の推移を知る。<br>・1580年をピークに、国内の戦いは減っている。   | ◎長篠合戦図屏風<br>◎豊臣期大坂図屏風<br>□人、建物、土地の様子の観点で長篠合戦図屏風と比較し、気付いたことを話し合う。<br>◎10年ごとの国内内乱数(グラフ)<br><br>【思①】 |
|                  | ②戦国の世が統一されたことに興味をもち、学習問題をつくる。                    | ○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どのようにして、戦いのない世の中になっていったのだろう。</div> ○年表を基にして、どのようなことを調べていくかを考え、グループで話し合う。<br>○これから調べていくことを全体で話し合い、学習計画を立てる。<br>・織田信長と豊臣秀吉の働きを中心に調べていく。  | 【思①】<br><br>◎織田信長・豊臣秀吉(肖像画)<br>◎織田信長・豊臣秀吉の年表<br>□話し合った内容を短冊に整理し次時以降の見通しをもたせる。<br><br>【態①】         |
| 調<br>べ<br>る      | ③織田信長が天下統一に向けて行った政策について理解する。                     | ◆織田信長は、どのようにして力を伸ばしたのだろう。<br>○織田信長の勢力図の変化を調べる。<br>○織田信長が天下統一に向けて行った政策を調べる。<br>・安土城の築城 ・楽市楽座 ・キリスト教の伝来<br>○学習したことを基に、織田信長の思いや願いについて考え、話し合う。  | ◎信長の勢力図の変化<br>◎安土城・楽市楽座(絵図)<br>◎ザビエル(肖像画)<br>□キリスト教の伝来について、世界地図を活用して調べる。<br><br>【知①】              |
|                  | ④豊臣秀吉が天下統一に向けて行った政策について理解する。                     | ◆豊臣秀吉は、どのような政策を進めたのだろう。<br>○豊臣秀吉が、全国を統一するために、どのようなことを行ったかを調べる。<br>・検地 ・刀狩 ・キリスト教禁止 ・大阪城築城<br>○学習したことを基に、豊臣秀吉の思いや願いについて考え、話し合う。  | ◎秀吉の勢力図<br>◎検地令条文、検地の想像図<br>◎刀狩令条文<br>□第3・4時で考え、話し合ったことを次時に生かすようにする。<br><br>【知①】                  |
|                  | ⑤織田信長と豊臣秀吉がどのように戦国の世を統一していったのかを理解する。             | ◆織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして戦いのない世の中にしていったのだろう。<br>○織田信長と豊臣秀吉が行った政策を、ベン図を使って整理し、二人の政策の共通点や相違点を考える。<br>・二人とも経済を盛んにしようとした。<br>・キリスト教に対して、二人は異なる政策を行った。   | □個人でベン図にまとめた後で、グループでホワイトボードにまとめ、全体に発表する。<br>□本時の最後に、自分の考えをノートにまとめさせる。<br><br>【知①】                 |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                               | ◆織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして戦いのない世の中をつくり上げたのだろう。<br>○学習問題に対して、調べたことを基に話し合い、織田信長と豊臣秀吉の働きをキャッチコピーにまとめ、自分の考えを発表する。<br>・織田信長…新しいものを使って天下統一へ<br>・豊臣秀吉…天下統一後に社会の仕組みを整理<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">・織田信長は新しく伝わった鉄砲を利用するなど戦いの仕方を工夫し、短い期間で領地を拡大した。豊臣秀吉は検地や刀狩を行い、社会の仕組みを整えた。その結果、戦いが減り、戦国の世が統一された。</div> | □各自がまとめたキャッチコピーについて少人数グループで話し合った後、各自の考えをまとめて発表させる。<br><br>【知②】【思②】                                |

|      |            |        |                       |
|------|------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 江戸幕府と政治の安定 | 配当 6時間 | 内容(2)アの(キ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|------------|--------|-----------------------|

〈「歴史と人々の生活」の区分〉

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| ①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、江戸幕府の政策や社会の様子を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。 | ①関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制に着目して、問いを見出し、江戸幕府の政策の意図や社会の様子について考え、表現している。<br>②関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利を収め、その後、江戸幕府を開いたことや大名を親藩、譜代、外様に分けて全国に配置したこと、徳川家光の頃に参勤交代が制度として確立したこと、キリスト教の信仰を禁止し、貿易を統制し渡航を禁止するなど海外との交流を制限する政策を進めていたこと、武士を中心とする身分制が定着したことを手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解することができることを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

①江戸幕府はどのように始まり、どのように世の中を治めたのかなどについて、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせて、関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国、身分制などの政策に着目して、それらの事象を関連付けたり総合したりして、武士による政治が安定したことを捉えられるようにする。  
②大名の配置や参勤交代の経路、出島などを通して交易があった国の名称と位置などを、日本地図や世界地図などの資料で調べ、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせて歴史的事象の位置や地域間のつながりなどを適切に読み取ることができるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

①江戸幕府の政治についての学習問題を設定し、学習計画を作成することにより、児童が見通しをもって、主体的な学習が展開できるようにする。さらに、まとめる段階では、関ヶ原の戦い、大名配置、参勤交代、鎖国、身分制といった江戸幕府の政策の意図や社会の様子に着目した問いを設定し、幕府の政治の安定へとつなげるようにする。  
②主体的・対話的で深い学びを行うために、一人一人が自分の考えをもった上で、ペアや少人数のグループで資料を根拠として話し合う活動や、ホワイトボードを用いて考えをまとめたりする活動を取り入れ、最終的に自分の考えを文章等で表現することにより、互いに考えを深め、広げられるようにする。



### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                            | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料【評価】)  |
|------------------|---|--|---|
| つ<br>か<br>む      | ①関ヶ原の戦いの様子を調べ、徳川家康が勝利を収め、江戸幕府を開いたことを理解する。     | ○関ヶ原の戦いの様子を読み取り、豊臣秀吉の天下統一後の日本について予想を立てる。<br>◆徳川家康は、どのようにして天下を治めていったのだろう。<br>○江戸幕府の仕組みや徳川家康による江戸の町づくりについて調べ、話し合う。<br>・家康は、譜代大名や旗本を幕府の重要な役職にした。<br>・江戸の町は、低い土地を埋め立ててつくられた。   | ◎関ヶ原合戦図<br>◎関ヶ原の戦い前後の全国大名領地一覧図<br>◎江戸幕府の仕組みの資料<br>◎江戸城と町の広がり図<br>□家康が江戸幕府の基礎をつくり上げたことを捉えさせる。<br>【知①】  |
|                  | ②江戸幕府が260年以上も間続いた理由を予想し、学習問題をつくる。             | ○等尺年表を用いて、他の時代と比べ江戸時代が長く続いたことを捉える。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">江戸幕府は、どのようにして260年以上も続く世の中を築くことができたのだろう。</div><br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・江戸幕府は、厳しい決まりや制度をつくったのではないか。   | ◎等尺年表<br>□他の時代と長さを比べることにより、長い間幕府が安定していた理由を考えさせる。<br><br>【思①】 【態①】                                     |
| 調<br>べ<br>る      | ③大名の配置図や武家諸法度、参勤交代の制度を調べ、江戸幕府の大名支配の仕組みを理解する。  | ◆徳川家光は、どのようにして大名を支配していったのだろう。<br>○大名配置図や武家諸法度から、江戸幕府による大名配置の様子や理由について考え、話し合う。<br>○参勤交代図やそれにかかる日数等から、大名支配の様子を考え、話し合う。<br>・各藩の財政は苦しくなり、幕府に逆えなくなった。   | ◎徳川家光の肖像画、エピソード<br>◎大名配置図の資料<br>◎武家諸法度の資料<br>◎参勤交代図と日数の資料<br>□地図を活用して調べさせる。<br>【知①】                   |
|                  | ④江戸幕府が鎖国政策をとるまでの経緯を調べ、鎖国政策や国内に及ぼした影響を考える。     | ◆鎖国によって、国内にどのような影響を及ぼしたのだろう。<br>○年表を基に、鎖国までの歩みを捉える。<br>○幕府の鎖国政策と影響について調べ、話し合う。<br>○鎖国下での限られた国との交流について調べる。<br>・鎖国により、幕府だけが貿易を行うこととなった。  | ◎鎖国までの歩みの年表<br>◎出島の絵図<br>◎踏み絵の写真や絵踏みの図<br>◎朝鮮通信使の資料<br>◎日本と交流があった国の地図<br>【思①】                         |
|                  | ⑤江戸幕府が身分制をとることにより、百姓や町人などをどのように支配していたのかを理解する。 | ◆江戸時代の身分制度の下で、人々はどのような生活をしていただろう。<br>○身分制と人々の暮らしについて調べ、話し合う。<br>○農業技術の進歩について調べ、話し合う。<br>○江戸幕府は身分制により、どのような世の中を目指したのかを考え、話し合う。<br>・人々の身分を固定化し、百姓に税や年貢を負担させ、武士が百姓や町人を支配するしくみをつくった。   | ◎江戸時代の身分別人口構成<br>◎様々な身分の絵図<br>◎農業技術の進歩の絵図<br>◎五人組の資料<br>□農業技術の進歩や新田開発により、米や作物の収穫が増えたことも捉えさせる。<br>【知①】 |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                            | ◆江戸幕府はどのような政治を行って、安定した世の中をつくり上げていったのだろう。<br>○学習問題に対して、これまで調べたことをそれぞれ関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。<br>○最終的に、もう一度自分の考えをノートにまとめる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・江戸幕府は、徳川家光の時代に、参勤交代や鎖国、身分制などの政策を進めて、その後、260年以上も続く武士による安定した政治の仕組みをつくり上げていった。</div> | □ホワイトボードを活用して少人数グループで話し合い、学習問題に対する考えをまとめさせる。<br><br>【思②】 【知②】   |

|      |             |        |                       |
|------|-------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 町人の文化と新しい学問 | 配当 6時間 | 内容(2)アの(ク)及び(シ)とイの(ア) |
|------|-------------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|--|--|
| ①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。 | ①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学に着目して、問いを見出し、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績について考え、表現している。<br>②歌舞伎や浮世絵の広がり、国学や蘭学がおこったことを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①近松門左衛門などによって生み出された歌舞伎の作品が数多く演じられ、それを人々が楽しんで鑑賞していたことや、歌川広重などによって描かれた作品が人々に親しまれていたこと、本居宣長が我が国の古典を研究し、国学の発展に重要な役割を果たしたこと、杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を著したこと、伊能忠敬が全国を測量して精密な日本地図を作ったことなどを手掛かりに、江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことを理解できるようにすることを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①既習事項である室町時代の文化の特色を振り返り、室町時代の墨絵と江戸時代の浮世絵などを具体的に比較して表に整理することにより、この頃に栄えた文化の特色を考えられるようにする。
- ②近松門左衛門などによって生み出された歌舞伎の作品が数多く演じられ、それを人々が楽しんで鑑賞していたことや、歌川広重などによって描かれた浮世絵が人々に親しまれたことなどについて、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせ、これらの人物の働きにより町人の間に歌舞伎や浮世絵が広がったことを捉えられるようにする。
- ③本居宣長が我が国の古典を研究し、国学の発展に重要な役割を果たしたこと、杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して「解体新書」を著したこと、伊能忠敬が全国を測量して緻密な日本地図を作ったことなどについて、社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせ、この頃、新しい学問がおこったことを捉えられるようにする。

### (3) 学習展開や学習指導の工夫

①町人の文化や新しい学問についての学習問題を設定し、学習計画を立てることにより、児童が見通しをもって、主体的な学習を展開できるようにする。さらに、まとめる段階では、歌舞伎や浮世絵を楽しむ人々の様子や、室町文化の特色との比較、本居宣長、杉田玄白、伊能忠敬の業績が果たした役割などに着目した問いを設定する。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                              | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|------------------|---|---|--|
| つ<br>か<br>む      | ①江戸時代のまちの様子を描いた絵図を基にして、当時の社会の様子に関心をもち、学習問題をつくる。 | ○熙代照覧を見て、当時の江戸のまちや人々の様子を調べる。<br>◆江戸時代の江戸のまちや人々の様子は、どのようなになっているのだろう。<br>○歌舞伎役者の浮世絵や藩校、寺子屋の様子などの絵図を見て、気付いたことを話し合う。<br>・歌舞伎役者が描かれた浮世絵が流行した。<br>・武士だけでなく、町人の子供も学校に行っている。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">江戸時代には、どのような文化や学問が生まれたのだろう。</div><br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・平和が続き社会が安定し、新しい文化や学問が生まれた。 | ◎熙代照覧(絵図)<br>□様々な身分の人たちでにぎわう様子を捉えられるようにする。<br>◎歌舞伎役者の浮世絵(絵図)<br>◎藩校の様子(絵図)<br>◎寺子屋の様子(絵図)<br>◎この頃の名な出来事の年表<br>□年表でこの時代の大まかな流れを押さえる。 【思①】<br><br>【態①】 |
| 調                | ②歌舞伎や浮世絵について、資料を活用して調べ、人々の間で親しまれていたことを考える。      | ◆歌舞伎や浮世絵は、人々の間でどのように広まり、親しまれたのだろう。<br>○歌舞伎見学をしている人々の様子を調べる。<br>○浮世絵のつくり方や描かれていたものを調べる。<br>○室町文化と比較して、この時代の文化の特色を考え、話し合う。<br>・町人や百姓など、多くの人々に親しまれていた。   | ◎歌舞伎を楽しむ人々(絵図)<br>◎近松門左衛門(肖像画)<br>◎歌川広重(肖像画)と浮世絵<br>□室町時代の文化について教科書やノートから振り返り、文化の違いを話し合うようにする。 【思①】  |
| 調                | ③杉田玄白らが翻訳した「解体新書」について調べ、社会に与えた影響を理解する。          | ◆杉田玄白らは、どのようにして「解体新書」をつかったのだろう。<br>○二つの解剖図を比較して、違いを話し合う。<br>○杉田玄白らが翻訳した「解体新書」について調べる。<br>・オランダ語の医学書の翻訳を苦労して行った。<br>・「解体新書」が出版され、蘭学への関心が高まった。  | ◎杉田玄白・前野良沢(肖像画)<br>◎中国とオランダの解剖図<br>□ヨーロッパの知識や技術が、日本の学問に影響を与えたことを捉えさせる。 【知①】  |
| と<br>る           | ④伊能忠敬がつくった日本地図について調べ、その業績が果たした役割を理解する。          | ◆伊能忠敬は、どのようにして正確な日本地図をつかったのだろう。<br>○江戸時代初期の日本地図と伊能忠敬の日本地図を比較し、その違いを話し合う。<br>○伊能忠敬の測量の様子を調べ、その業績を考える。<br>・幕府が全国の測量を事業として伊能忠敬に命じた。<br>・忠敬の死後、弟子たちが正確な地図を完成させた。  | ◎伊能忠敬(肖像画)<br>◎江戸時代初期の地図と伊能忠敬の地図<br>□ヨーロッパの知識や技術が、日本の学問に影響を与えたことを捉えさせる。 【知①】   |
|                  | ⑤国学について、地図や年表、その他の資料を活用して調べ、新しい時代への動きを理解する。     | ◆国学とは、どのような学問なのだろう。<br>○国学の考え方について調べる。<br>○江戸時代後期の政治や社会の様子を調べ、新しい学問が当時の人々にどのような影響を与えたのかを考え、話し合う。<br>・国学の広まりにより、天皇を尊いものとし政治の現状を批判する人たちが現れるなどの影響が出た。  | ◎本居宣長(肖像画)<br>◎国学に関する文書資料<br>◎江戸時代後期の飢饉と百姓一揆・打ちこわしの件数(グラフ)<br>□社会が不安定になり政治改革の動きが出たことを捉えさせる。 【知①】   |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                              | ◆平和で安定した社会が続いた江戸時代には、どのような新しい文化や学問が生まれたのだろう。<br>○学習問題に対して、ここまで調べたことを関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・江戸時代には社会が安定する中で、歌舞伎や浮世絵といった文化が栄え、町人に親しまれた。また、ヨーロッパの学問である蘭学が伝わったり、古くからの日本人の考え方を研究する国学が広まったりして、政治や社会に影響を与えた。</div>  | □歌舞伎や浮世絵が今も多くの人たちに親しまれていることを紹介する。 【知②】 【思②】  |

|      |               |        |                         |
|------|---------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | 明治の国づくりを進めた人々 | 配当 6時間 | 内容 (2) アの(ケ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|---------------|--------|-------------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子を捉え、その変化を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| ①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、この頃の政治の仕組みや世の中の様子を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 | ①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などに着目して、問いを見出し、この頃の政治の仕組みや世の中の様子について考え、表現している。<br>②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。 | ①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①ペリーの率いる米国艦隊の来航をきっかけに我が国が開国したことや江戸幕府の政権返上に伴い勝海舟と西郷隆盛の話合いにより江戸城の明け渡しが行われたこと、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の働きによって明治天皇を中心とした新政府がつけられたこと、明治天皇の名による五箇条の御誓文が發布され新政府の方針が示されたこと、明治政府が行った廃藩置県や四民平等などの諸改革によって近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったこと、福沢諭吉が欧米の思想を紹介するなど欧米の文化が広く取り入れられたことによって人々の生活が大きく変化したことなどを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解することを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

①江戸時代の終わり頃、黒船が来航した背景や欧米諸国がアジアの国々に進出していた状況について、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせ、世界の動きと日本の歴史上の出来事をつなげて捉えられるようにする。  
②ペリーの肖像画や黒船来航の絵画などから江戸幕府や当時の人々への影響を考えるとともに、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允などの人物のエピソードや資料などを基に明治政府の諸改革について調べるようにする。  
③江戸時代末期の日本橋の様子と明治時代初期の日本橋の様子の違いなどに注目し、世の中の様子が短い期間に急激に変化していったことを捉え、学習問題づくりへとつなげる。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

①明治の新しい世の中をだれがどのようにつくったのかについて学習問題をつくった後で、年表を活用し学習計画を立てられるようにする。それにより児童が見通しをもって、主体的にその後の学習活動を展開できるようにする。  
②「対話的な学び」を行うために一人一人が考えをもった上で、少人数のグループで話し合う活動やホワイトボードに考えをまとめる活動を取り入れる。また、人物の働きを関係図にまとめることによって、明治政府に関わる人物などの業績と主な出来事などの関係を適切に整理し年表や図表、文章等にまとめられるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす   | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点◎資料 【評価】)   |
|--|--|---|--|
| つかむ  | ①江戸時代末期と明治時代初期の日本橋の様子を比較し、変化について考える。   | ○江戸時代の終わり頃と明治時代の初め頃の日本橋の絵図を比較する。<br>◆江戸時代の終わり頃と明治時代の初め頃の日本橋の様子には、どのような違いがあるだろう。<br>・約20年の間に、まちの様子が大きく変わった。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">明治の新しい世の中を、だれがどのようにしてつくっていったのだろう。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・江戸から明治への大きな変化に、多くの人が関わった。 | ◎日本橋の絵図(江戸時代末期)<br>◎日本橋の絵図(明治時代初期)<br>◎時代の長さの分かるテープ図<br>□2枚の絵図を具体的に比較することにより、短期間で劇的な変化に気付けるようにする。<br><br>◎年表<br><br>【思①】【態①】 |
| 調べ   | ②黒船来航により日本が開国し、これをきっかけにして江戸幕府が不平等な条約を結んだことを理解する。   | ◆ペリーの来航は、江戸幕府にどのような影響を与えたのだろう。<br>○ペリーの来航の目的やペリー来航の頃の世界的様子について調べる。<br>○開国後の江戸幕府の対応や政権の返上について調べる。<br>・不平等な条約を結び、人々の不満が高まった。  | ◎ペリー来航の頃の世界的様子<br>□江戸時代末期のアジアの国々の様子から、我が国の状況を空間的に捉えられるようにする。<br>◎日米和親条約、日米通商交渉条約についての文章資料<br><br>【知①】                        |
|  | ③明治政府が、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代国家としての政治や社会の仕組みが整ったことを理解する。  | ◆明治政府は、どのような国づくりを目指したのだろう。<br>○明治政府が行なった廃藩置県や四民平等などの諸改革について、西郷隆盛や大久保利通、木戸孝允の働きを中心に調べる。<br>○明治政府がどのような国づくりを目指したか考え、話し合う。<br>・欧米に負けない近代的な国づくりを目指した。   | ◎五箇条の御誓文の一部<br>◎廃藩置県、四民平等、岩倉使節団についての文章資料(教科書、資料集)<br>□廃藩置県や四民平等にすることにより、江戸時代の体制とどんなことが変わってくるのか考えるようにする。<br><br>【知①】          |
|  | ④明治政府で大久保利通が行った政策により、富国強兵の国づくりが行われたことを理解する。  | ◆大久保利通は、どのような政策を行ったのだろう。<br>○大久保利通が進めた殖産興業や徴兵令など、富国強兵に向けた取組について調べる。<br>○富国強兵を進めた大久保利通の思いや願いについて考え、話し合う。   | ◎大久保利通についての映像資料<br>◎生糸生産量の推移<br>□殖産興業、徴兵令、地租改正、富国強兵の関係を図にまとめて整理するようにする。<br><br>【知①】  |
| ⑤福沢諭吉の業績について調べ、欧米の文化が広く取り入れられ、人々の生活が大きく変化したことを考える。 | ◆福沢諭吉は、なぜ学問の大切さを広めようとしたのだろう。<br>○福沢諭吉が外国の新たな考えや、学問の大切さを広めたことについて調べる。<br>○福沢諭吉の思いや願いについて考え、話し合う。<br>・福沢諭吉は、日本の国を発展させるために、学問を学ぶことが大切だと考えた。 | ◎学校へ通う子供の割合の推移<br>◎福沢諭吉の言葉(「学問のすすめ」から)<br>□新しい考えとともに、欧米の文化も取り入れたことにも触れる。<br><br>【思①】  |  |
| まとめる   | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。   | ◆どのような人物が中心となって、明治の新しい国づくりを行っていったのだろう。<br>○明治の新しい国づくりに関わった人物の働きを関係図に整理してまとめる。<br>○学習問題に対して、ここまで調べたことを関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・大久保利通、木戸孝充、福沢諭吉などの人々は、西洋の文化を取り入れながら、新しい政治の仕組みをつくったり、産業や文化を発展させたりしながら、明治の国づくりを行った。</div>          | □各自がまとめた関係図を基に、ホワイトボードを活用して少人数グループで話し合い、考えをまとめて発表させる。<br><br>【思②】【知②】  |

|      |            |        |                       |
|------|------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 世界に歩み出した日本 | 配当 6時間 | 内容(2)アの(コ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|------------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、明治政府が憲法を制定したことや世の中の様子を捉え、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| ①大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、明治政府が憲法を制定したことや世の中の様子を理解している。<br>②調べたことを年表や図表などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。 | ①大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などに着目して、問いを見出し、明治政府が憲法を制定したことや世の中の様子について考え、表現している。<br>②大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。 | ①大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①板垣退助や大隈重信が国会開設に備えて政党を作ったことや、伊藤博文が憲法制定に重要な役割を果たしたこと、明治政府が発足後20年ほどで大日本帝国憲法を制定したこと、日清・日露戦争の講和条約締結や条約改正において陸奥宗光や小村寿太郎が大きな働きをしたこと、日露戦争において東郷平八郎が活躍したこと、野口英世が黄熱病について世界的に注目された研究を行い科学の発展に尽くしたことなどを手掛かりに、この頃、我が国の国力が充実し国愛的な地位が向上したことを理解できるようにすることを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①西洋クラブへの仲間入り前後を描いたビゴーの2枚の風刺画を比較し、社会的事象の見方・考え方(時期や時間の経過)を働かせて、当時の日本が、日清戦争の頃から短い期間で国際的地位を向上させたことから、この間にどのような出来事があったのか関心がもてるようにする。
- ②日清・日露戦争の戦場を示す地図や、朝鮮併合時の日本の領土を示す地図について、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせて、当時の我が国が国際的に勢力範囲を広げていったことを考えられるようにする。その際は、これらの戦争では、戦場になった朝鮮半島及び中国において大きな被害を与えたことに触れることが大切である。

### (3) 学習活動や学習展開の工夫

- ①日本の国際的地位向上に関する学習問題を設定し、年表を活用して学習計画を立てることで、児童が見通しをもって、主体的な学習を展開できるようにする。さらに、「まとめる」段階では、伊藤博文が中心となって行った大日本帝国憲法の制定のための取組、陸奥宗光や小村寿太郎の外交についての努力、野口英世の黄熱病についての世界的に注目された研究など、人物の働きに着目した問いを設定し、毎時間の学習を展開する。
- ②「まとめる」段階では、一人一人が学習問題に対する自分の考えをもち、少人数グループで資料を根拠として話し合う活動を行って、最終的に自分の考えを文章等で表現することにより、互いの考えを深められるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                                      | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点○資料 【評価】)  |
|------|---|--|---|
| つかむ  | ①1870年代と1900年代のビゴアの風刺画の比較や年表の読み取りから、学習問題をつくる。           | ○1870年代と1900年代のビゴアの2枚の風刺画を比較し、その時代に関する年表を読み取る。<br>◆二つの絵を比較し、年表を読み取ることにより、どのようなことが分かるだろう。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本はどのようにして海外から認められたのだろうか。また国民の生活はどのように変化したのだろうか。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・欧米諸国と対等に関われるようになる出来事は何か?      | ○ビゴアの2枚の風刺画<br>○年表(1886年～1911年)<br>□2枚の風刺画を比べ、短期間で外国との関係が変化していることから、この間どんなことがあったのか問題意識をもたせる。<br><br><b>【思①】【態①】</b> |
| 調べる  | ②国際的な近代国家を目指して、国会開設に向けた大日本帝国憲法が公布されたことを理解する。            | ◆海外から認められる国づくりのために、明治政府はどのような政策をとったのだろう。<br>○教科書の本文や資料を見て、自由民権運動の内容や伊藤博文の働きを調べ、大日本帝国憲法公布までの道のりをまとめる。<br>・伊藤博文を中心に大日本帝国憲法がつくられた。  | ○自由民権運動の説明資料<br>○国会開設に向けた年表<br>○大日本帝国憲法条文<br>□板垣退助や伊藤博文などの人物の思いや願いに着目させる。<br><b>【知①】</b>                            |
| 調べる  | ③中国とロシアとの戦争に勝利したことが日本の地位向上につながったことを理解する。                | ◆二つの戦争の勝利によって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていったのだろう。<br>○ビゴアの風刺画、教科書の資料を見て、各国の関係性や戦争の結果を読み取る。<br>○二つの戦争に勝利したことで、日本の地位がどのように変化したのかを考える。  | ○ビゴアの風刺画<br>○日清・日露戦争の戦場の広がり<br>○日清・日露戦争の結果表<br>□戦場となった朝鮮や中国の人々に損害を与えたことに触れる。<br><b>【知①】</b>                         |
| 調べる  | ④二つの戦争後の日本の変化や科学の発展について調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを考える。   | ◆世界の中で、日本の立場はどのように変わっていったのだろう。<br>○東郷平八郎などの活躍で日露戦争に勝利したこと、陸奥宗光や小村寿太郎が講和条約を締結したこと、野口英世など世界で日本人が活躍したことから、日本の国際的地位の向上を理解する。   | ○領土の広がり<br>○条約改正の流れ<br>○世界で活躍する日本人<br>□陸奥宗光や小村寿太郎などの人物の働きに着目させる。<br><b>【思①】</b>                                     |
| 調べる  | ⑤産業の発展によって起こった社会問題や様々な運動について調べ、人々の民主主義への意識が高まったことを理解する。 | ◆産業の発展によって、人々の生活や社会はどのような変化をしたのだろう。<br>○重工業やラジオ放送の開始、洋服の普及、交通の発達などの変化があったことについて調べる。<br>○普通選挙を求めるデモ行進や女性運動など、民主主義への意識が高まったことについて調べる。<br>○足尾銅山鉛毒事件などの社会問題があったことについて調べる。  | ○八幡製鉄所の操業<br>○ラジオ放送・洋服・交通の普及<br>○普通選挙を求めるデモ運動<br>○田中正造と足尾銅山<br>□各自が調べた後で、自分の考えを基に、少人数グループで話し合わせる。<br><b>【知①】</b>    |
| まとめる | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。                                      | ◆日本の立場や国民の生活は、どのように変わっていったのだろう。<br>○これまで学習してきたことを関連付けて、学習問題に対する答えを考え、話し合う。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・不平等条約を結んでいた日本は、大日本帝国憲法の制定、日清・日露の二つの戦争の勝利や世界で活躍する科学者らが現れたことにより、外国と対等に渡り合えるように国力を高め、国際的地位が向上した。産業の発展で人々のくらしは便利になったが、様々な問題も起こり、民主主義を求める動きが高まった。</div> | □前時までの学習を振り返り、少人数グループで話し合い、各自の考えをまとめさせる。<br><b>【思②】【知②】</b>   |

|      |                |        |                       |
|------|----------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 長く続いた戦争と人々の暮らし | 配当 6時間 | 内容(2)アの(サ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|----------------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、戦争の長期化や戦線の拡大に伴う国民生活への影響、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦を経て、国民が大きな被害を受けたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|--|--|
| ①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、戦争の長期化や戦線の拡大に伴う国民生活への影響、各地への空襲、沖縄戦、原子爆弾投下の様子を理解している。<br>②調べたことを年表や図表などにまとめ、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦を経て、国民が大きな被害を受けたことを理解している。 | ①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などに着目して、問いを見出し、戦争の長期化や戦線の拡大に伴う国民生活への影響、各地への空襲、沖縄戦、原子爆弾投下の様子について考え、表現している。<br>②日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①我が国と中国との戦いが全面化したことや、我が国が戦時体制に移行したこと、我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたこと、国内各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾投下など、国民が大きな被害を受けたことが理解できることを意図している。また、これらの戦争において、我が国が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたことについても触れることが大切である。

### (2) 教材や資料の工夫

①戦争の広がり様子や戦争が激しくなる中で、国民生活がどう変わったのかなどについて、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり、時期や時間の経過)などを働かせて、満州事変以降、我が国が中国やアジア・太平洋地域にまで戦争を拡大させたことや、戦時体制に移行したこと、空襲の被害などで国民が苦しい生活を送っていたことなどを捉えられるようにする。  
 ②戦争体験者への聞き取り調査や諸資料から、当時の国民学校と現在の小学校の時間割、疎開先での食事の献立内容と現在との違い、当時の国民生活の様子などを調べ、当時の人々の暮らしについて考えられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

①小単元の導入で、日中戦争開始から我が国に関わる第二次世界大戦終了までについて調べる学習問題を設定し、学習計画を立てることで、児童が見通しをもって、主体的に問題解決的な学習を展開できるようにする。さらに、調べる段階では、学習計画で立てた調べる四つの内容に則って、毎時間の問いを設定する。  
 ②学校図書館や公共図書館、博物館や資料館などを利用したり、地域の高齢者や語り部などに当時の話を聞いたりする活動を取り入れ、児童が自ら資料を活用したり調査したりする学習を展開する。また、一人一人が考えをもった上で、少人数グループでの話し合い活動や、学習した内容や考えをホワイトボードにまとめる活動などを取り入れることとする。



### 3 小単元の指導計画 (6時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす   | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)   |
|------|--|--|---|
| つかむ  | ①日本が戦争を始めたきっかけに注目し、学習問題をつくる。                               | ○満州事変からポツダム宣言受諾までの年表から、日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、戦争中の国民生活、国内各地の被害について注目する。<br>◆年表からどのようなことが分かるだろう。<br>・数多くの戦争を短い期間で行っている。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。  | ◎年表(満州事変から我が国に関わる第二次世界大戦終了まで)<br>□ここで、左記の四つの項目に注目させることにより、学習問題をつくった後の学習計画に生かせるようにする。 【思①】                       |
|      |  | 戦争によって、日本や世界の国々はどうなっていたのだろう。   | ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・日中戦争から第二次世界大戦へ、戦争が拡大していった。 【態①】  |
| 調べ   | ②日本が南満州鉄道を爆破し、これをきっかけにして満州事変や日中戦争がはじまり、中国全土で戦争を行ったことを理解する。 | ◆中国との戦争は、どのような戦争だったのだろう。<br>○満州事変や日中戦争が起きた経緯や、日本が中国に対して行ったことについて調べる。<br>・中国に勢力を伸ばし、不景気を回復しようとした。<br>○日中戦争がどのようにして広まったのかについて話し合う。<br>・日本は国際連盟を脱退し、中国軍と北京郊外で戦いを始め、それが中国各地に広がっていった。       | ◎国際連盟から脱退した時の様子<br>□地図を使い、南満州で起きた満州事変をきっかけにして、やがて中国全土に戦争が広がった様子を捉えられるようにする。<br>◎中国との戦争の様子についての文章資料 【知①】         |
|      | ③世界では第二次世界大戦が始まり、日本はアジアや太平洋に向けて戦争の範囲を広げ、太平洋戦争に発展したことを理解する。 | ◆当時の世界ではどのようなことが起きていたのだろう。また、日本はどのように戦争を進めていったのだろう。<br>○ヨーロッパではドイツとイタリアが中心になって第二次世界大戦が始まったことについて調べる。<br>○日本は、どのようにしてアジアや太平洋に向けて戦争を広げていったのか考え、話し合う。<br>・東南アジアへの進出から太平洋戦争へつながった。         | ◎ヨーロッパの地図<br>◎アジア・太平洋の地図<br>◎アジア、太平洋に戦争の範囲を広げていった戦争の様子についての文章資料(教科書、資料集)。<br>□地図を活用し、戦争の広がりの様子を捉えられるようにする。 【知①】 |
| 調べる  | ④戦争による国民生活の変化や当時の子供たちの暮らしについて調べ、その様子を考える。                  | ◆戦争中人々はどうのような生活をしていたのだろう。<br>○戦争中の国民の様子について考え、話し合う。<br>・人々の生活は、全て戦争のために制限されていた。<br>○学校生活の様子や学童疎開の様子について調べ、当時の子供たちの思いについて考え、話し合う。<br>・食料や物が不足し、子供たちも大変な生活だった。                           | ◎国民生活についての資料<br>◎当時の国民学校の時間割<br>□当時の食事と現在の食事を比較し、子供たちも苦労していたことが分かるようにする。 【思①】                                   |
|      | ⑤日本各地の空襲や沖縄戦、広島・長崎への原爆により、国民が大きな被害を受けたことを理解する。             | ◆日本各地では、空襲や原爆の投下によって、どのような被害を受けたのだろう。<br>○日本本土における空襲や沖縄戦、広島・長崎への原爆の投下などの様子を調べる。<br>○日本がアジア諸国の人々に対し、多大な損害を与えたことを調べる。  | ◎本土の空襲や沖縄戦、原爆投下の様子についての資料<br>◎戦争で犠牲になったアジアの人々の数を示す資料 【知①】   |
| まとめる | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。   | ◆長く続いた戦争は、日本や外国にどのような影響を与えたのだろう。<br>○これまで学習してきたことを関連付けて、学習問題に対する答えを考え、話し合う。  | □少人数グループで話し合い、ここまでの学習を通して考えたことをまとめる。 【思②】 【知②】  |
|      |  | ・日本は景気をよくするために満州で戦争を起こし、その戦争が中国だけでなくアジアや太平洋地域にまで広がり、近隣諸国にも大きな被害を与えた。また、当時の国民や子供たちも戦争により苦しい生活を送るだけでなく、日本本土でも空襲や沖縄戦、原子爆弾の投下などにより大きな被害を受けた。この戦争について学んだことを決して忘れず、平和な世の中になるよう、できることから努力したい。 |   |

|      |              |        |                       |
|------|--------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 新しい日本、平和な日本へ | 配当 7時間 | 内容(2)アの(サ)及び(シ)とイの(ア) |
|------|--------------|--------|-----------------------|

<「歴史と人々の生活」の区分>

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

我が国の歴史上の主な事象について、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、戦後の改革、人々の暮らしの変化や世界との関わりを捉え、政治や国民生活の変化や、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考え、表現することを通して、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習してきたことを基に過去の出来事と現在の自分たちの生活や社会との関わりや、歴史から学んだことを現在及び将来どのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準 (案)

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| <p>①日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、戦後の改革、人々の暮らしの変化や世界との関わりを理解している。</p> <p>②調べたことを年表や図表などにまとめ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p> | <p>①日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などに着目して、問いを見だし、戦後の改革、人々の暮らしの変化や世界との関わりについて考え、表現している。</p> <p>②日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催など関連付けたり総合したりして、政治や国民生活の変化や、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。</p> | <p>①日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習してきたことを基に、過去の出来事と現在及び将来の自分たちの生活や社会との関わりや、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど、国家及び社会の発展を考えようとしている。</p> |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

①戦後、平和で民主的な憲法が制定され、我が国が民主的な国家として出発したことや我が国が国際社会に復帰し、工業が発展し電化製品が普及したことなどにより国民生活が向上したこと、スポーツの祭典としてアジアで初めて東京でオリンピックが開催され、その後も我が国でオリンピック・パラリンピックの大会が開催されたことなどを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにすることを意図している。

### (2) 教材や資料の工夫

①新宿の様子（終戦直後・東京オリンピック開催時・現在）について、社会的事象の見方・考え方(時期や時間の経過)を働かせて、戦争直後から世の中の様子が短い期間に急激に変化していったことを捉えるようにし、疑問を集約して学習問題づくりへとつなげられるようにする。

②戦後の改革と国民生活への影響、国際連合への加盟と国際社会への復帰、高度経済成長の中の東京オリンピック・パラリンピックの開催などについて諸資料から適切に読み取り、調べたことを整理してまとめられるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

①新宿の様子（終戦直後・東京オリンピック開催時・現在）の写真を比較し、世の中の様子が劇的に変化していることから、児童が学習への関心を高め、学習問題をつくった後で、年表を活用し学習計画を立てられるようにする。それにより、児童が見通しをもって、主体的にその後の学習活動を展開できるようにする。さらに、調べる段階では、日本国憲法の制定や東京オリンピック・パラリンピックの開催などについて調べ、我が国が国際社会に復帰し、国民生活が向上したことや、世界との関わりについて考える問いを、毎時間設定する。

②図書館や博物館、資料館などを利用したり、地域の高齢者や語り部などに当時の話を聞いたりする活動を取り入れ、児童が自ら資料を活用したり調査したりする学習を展開する。

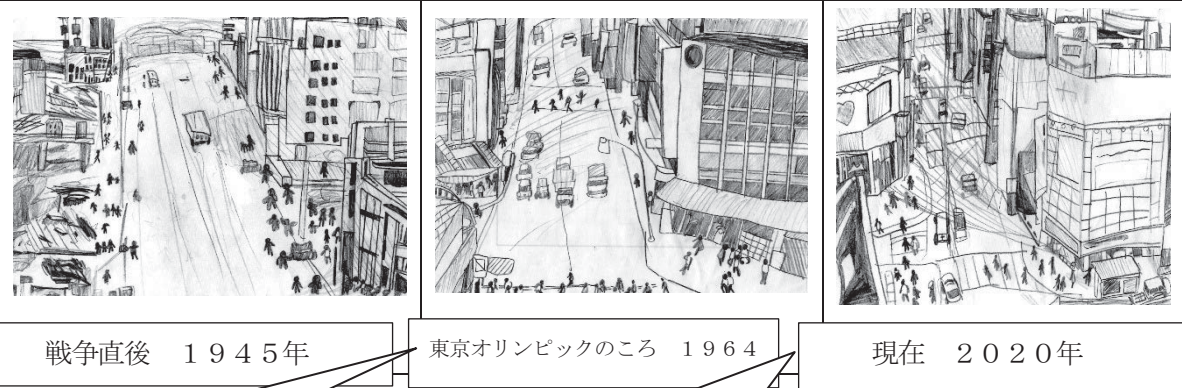
### 3 小単元の指導計画 (7時間扱い)

| 過程   | ねらい<br>○数字は第○時を表わす   | 主な問い(◆) 主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|--|--|---|--|
| つ<br>か<br>む  | ① 3枚の新宿の様子<br>の写真を比較して変化<br>に関心をもち、学習問題<br>をつくる。   | ○ 3枚の新宿の様子<br>の写真を比較する。<br>◆ 3枚の新宿の様子<br>の写真には、どのよう<br>な違いがあるのだら<br>う。<br>・ 戦後20年の間に<br>まちの様子は大きく<br>変わり、発展した。<br>○ 疑問を出し合い、<br>学習問題をつくる。   | ◎ 新宿の様子<br>の写真(終戦直後・<br>東京オリンピック<br>開催時、現在)<br>□ 3枚の写真を<br>比較することによ<br>り、戦後のまち<br>の様子<br>の短期間での<br>劇的な変化に<br>気付かせる。  |
|  |  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">戦争が<br/>終わってから、<br/>どのようなこと<br/>があり、日本は<br/>どのように変わ<br/>っていったのだ<br/>らう。</div> ○ 予想したことを<br>出し合い、学習<br>計画を立てる。<br>・ 敗戦国の日本<br>が、世界に認め<br>られることを行<br>ったのかな。 | ◎ 戦後の日本<br>の主な出来事の<br>年表<br>【思①】【態①】   |
| 調<br>べ<br>る  | ② 戦後の改革を<br>進めたことを調べ、<br>平和で民主的な<br>国家として出発<br>したことを理解<br>する。  | ◆ 戦争の後、日本<br>では、どのような<br>改革が行われた<br>のだらう。<br>○ 戦後の改革や<br>日本国憲法の制<br>定について調べ<br>る。<br>・ 女性の参政権<br>が認められ、新<br>しい憲法がつけ<br>られた。<br>○ 戦後の改革<br>によって、どの<br>ような国づくり<br>が目指されたの<br>かを考える。                             | ◎ 憲法公布の<br>記念祝賀会の写<br>真<br>□ 政治単元の<br>日本国憲法の学<br>習で学んだこと<br>と関連付ける。<br>◎ 戦後の改革<br>や日本国憲法に<br>ついての写真や<br>資料<br>【知①】   |
|  | ③ 国際連合への<br>加盟や工業の発<br>展、電化製品の<br>普及などを調べ、<br>国民生活が向上<br>したことを理解<br>する。  | ◆ 日本が世界の<br>仲間に戻るまで<br>には、どのような<br>ことがあったの<br>だらう。<br>○ サンフランシ<br>スコ平和条約の<br>調印や国際連<br>合への加盟につ<br>いて調べる。<br>○ 工業の発展<br>や電化製品の普<br>及について調べ<br>る。<br>○ 国民生活が<br>どのように向上<br>したのかを考<br>える。                        | ◎ サンフラン<br>シスコ平和条約<br>や国際連合に<br>加盟した写真<br>や資料<br>◎ テレビの普<br>及(グラフ)<br>□ 各自が調べ<br>た後で、少人数<br>グループで話し<br>合わせる。<br>【知①】 |
|  | ④ 東京オリンピ<br>ック・パラリン<br>ピックの開催に<br>ついて調べ、産<br>業が更に発展し<br>たことを理解す<br>る。  | ◆ 東京オリンピ<br>ック・パラリン<br>ピックが開かれ、<br>日本は、どのよ<br>うに発展したの<br>だらう。<br>○ 東京オリンピ<br>ック・パラリン<br>ピックの開催と、<br>それに関連す<br>るできごとを<br>調べる。<br>○ 東京オリン<br>ピック・パラ<br>リンピック開<br>催前後の国民<br>生活の変化につ<br>いて調べる。                    | ◎ 東京オリン<br>ピック・パラ<br>リンピックの<br>様子<br>の資料<br>◎ 新幹線等<br>の開通の写<br>真や資料<br>□ 短い期間<br>に急速に発展<br>していること<br>に気付かせる。<br>【知①】 |
| ⑤ 現在の日本<br>が抱える問題<br>や、今後果た<br>すべき役割に<br>ついて調べ、考<br>えたことを話し<br>合う。 | ◆ これからの<br>日本は、どのよ<br>うな国を目指<br>していったら<br>よいのだらう。<br>○ 現在の日本<br>が抱える問題<br>について、新<br>聞やインター<br>ネット等を活<br>用して調べる。<br>○ グループの<br>友達と共有し、<br>日本は今後、<br>どのような国<br>を目指してい<br>くべきかにつ<br>いて話し合う。 | ◎ 日本が抱<br>える課題の<br>新聞記事や<br>インターネット<br>の資料<br>□ 各自が<br>調べた後で、<br>自分の考え<br>を基に、少<br>人数グルー<br>プで話し合<br>わせる。<br>【思①】   |  |
| ま<br>と<br>め<br>る   | ⑥ 戦後の改革<br>や国民生活の<br>向上、国際社<br>会における日<br>本の役割など<br>についてまとめ、<br>学習を通して<br>考えたことを<br>発表する。   | ◆ 戦後、日本<br>はどのように<br>発展していった<br>のだらう。<br>○ 学習問題に<br>ついて調べた<br>ことを年表に<br>整理し、「一言<br>コメント」を<br>書く。<br>○ 学習問題に<br>対して、調べ<br>たことを関連<br>付けて話し合<br>い、考えをま<br>とめて発表す<br>る。   | □ 調べてきた<br>ことについて<br>ホワイトボ<br>ードを活用し<br>て少人数グル<br>ープで話し合<br>い、学習問題<br>に対する考え<br>をまとめさせ<br>る。<br>【思②】【知②】             |
| い<br>か<br>す  | ⑦ 今まで学<br>習してきた<br>歴史学習を<br>振り返り、「<br>歴史を学ぶ<br>意味」につ<br>いて考え、表<br>現する。   | ◆ 歴史を学<br>ぶ意味には<br>どのような<br>ことがある<br>だらうか。<br>○ 年表を使<br>って、歴史<br>学習全体を<br>振り返る。<br>・ 時代が<br>大きく変わ<br>るときには、<br>いろいろな<br>人物の働<br>きがあった。<br>○ 歴史を<br>学ぶ意味<br>について考<br>え、意見文<br>を書く。                             | □ 歴史学<br>習を振り返<br>る時に、「政治<br>の中心地」「<br>歴史人物の<br>働き」「伝<br>統や文化」<br>の視点を<br>現代とのつ<br>ながりで<br>振り返らせ<br>る。<br>【思②】【態②】   |

第 1 時の資料 (つかむ)

資料 3 枚の新宿の様子の写真 (東京書籍「新しい社会 6 年上」)

◆ 3 枚の新宿の様子の写真には、どのような違いがあるのだろう。



戦争直後 1945年

東京オリンピックのころ 1964

現在 2020年

空襲で焼け野原になっていた場所が、20年ほどで、かなり復興している

現在の様子になるまでに、日本でどのようなことがあったのかな？

【指導上の留意点】  
比較するときには、建物や道路の様子などに着目できるようにする。

同一空間における変化やその原因に着目する。

【学習問題】

戦争が終わってから、どのようなことがあり、日本はどのようにかわっていったのだろう。

【補足資料】 戦後の日本の主な出来事の年表

- 1945 日本が降伏し、戦争が終わる
- 1946 戦後初の総選挙が行われる  
日本国憲法が公布される
- 1947 教育基本法が公布される
- 1949 湯川秀樹が日本人で初めてノーベル賞を受賞する
- 1951 サンフランシスコ平和条約を結ぶ  
日米安全保障条約を結ぶ
- 1956 ソ連と国交を回復する  
国際連合の加盟が認められる
- 1964 東京オリンピックが開かれる
- 1972 沖縄が日本に復帰する  
中国と国交を回復する  
札幌オリンピックが開かれる
- 1978 日中平和友好条約を結ぶ



資料 日本国憲法公布  
記念祝賀会の様子  
(出典：読売新聞社)

資料 サンフランシスコ  
平和条約調印の様子  
(出典：Wikipedia)



資料 東京オリンピック  
開会式の様子  
(出典：読売新聞社)

【指導上の留意点】 調べる段階で提示する資料を年表に入れることで、児童が見通しをもって学習を進められるようにする。

## 第5時の資料（調べる）

◆これから日本は、どのような国を目指していったらよいのだろう。



東日本大震災のボランティア（出典：札幌大学HP）



沖縄アメリカ軍基地（出典：Wikipedia）



北朝鮮から帰国した拉致被害者（出典：読売新聞社）



北方領土 歯舞諸島  
（出典：読売新聞社）

【指導上の留意点】 次の①、②、③に留意できるようにする。

①現在、何が課題になっているのかを調べる。②今までの歴史の学習で学んだことを基にして、自分なりの解決策を考える。③同じ課題を選択した友達とグループをつくり、意見交流をする。

## 第6時の資料（まとめる）

時間的な変化と国際社会における日本の協調的な関係づくりに着目する。

◆戦後、日本はどのように発展していったのだろう。

- 1946 新しい日本国憲法が公布される
- 1947 教育の制度が変わる
- 1952 占領が終わり、主権を回復する
- 1956 国際連合に加盟する
- 1958 東京タワーが建てられる
- 1964 東京オリンピック・パラリンピックが開かれる
- 1972 沖縄が日本に復帰する
- 1985 男女雇用機会均等法が公布される
- 1989 元号が昭和から平成に変わる
- 1995 阪神・淡路大震災が起こる
- 2002 日本と韓国でサッカーワールドカップが開かれる
- 2011 東日本大震災が起こる
- 2012 東京スカイツリーが建てられる

現在の日本のしくみが作られた。70年以上たって、改正するかどうか議論になっている。

オリンピックが開かれることで、経済が成長した。この後、何度もオリンピックを開くことのできる国になった。

これからも、近くの国と協力していくことが大切だと思う。

戦後の日本は、日本国憲法の制定や様々な改革を行い、平和で民主的な国家として出発した。その後も、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、東京オリンピック・パラリンピックを開催するなど、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。

|      |              |        |                         |
|------|--------------|--------|-------------------------|
| 小単元名 | 日本とつながりの深い国々 | 配当 8時間 | 内容 (3) アの(ア)及び(ウ)とイの(ア) |
|------|--------------|--------|-------------------------|

＜主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の区分＞

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

グローバル化する世界と日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、異なる文化や習慣をもつ世界の人々と共に生きるために大切なことについて、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| ①外国の人々の生活の様子などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。<br>②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 | ①外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見出し、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現している。<br>②世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流の果たす役割を考えたり、学習したことを基に異なる文化や習慣を尊重し合うために、自分たちができることを考え選択・判断したりして、適切に表現している。 | ①外国の人々の生活の様子などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②異なる文化や習慣を尊重し合うために大切なことについて、自分たちにできることを考えようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は多様であることを理解した上で、オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツ交流や、様々な文化を通じた国際交流が行われていることを捉え、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さについて理解することを意図している。
- ②我が国と経済や文化の面でつながりが深い国から、教師が3か国程度を取り上げ、その中から児童一人一人が自らの興味・関心や問題意識に基づいて1か国を選択して主体的に調べることができるようになる。その際、取り上げる国が特定の地域に偏らないように配慮し、国によって調べる資料の量などに大きな違いが生じないように配慮する。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①我が国と経済や文化の面でつながりの深い国々の人々の衣服や料理、食事の習慣、住居、挨拶の仕方やマナー、子供たちの遊びや学校生活、気候や地形の特色に合わせたくらしの様子、娯楽、国民に親しまれている行事などの生活の様子について、社会的事象の見方・考え方(比較)を働かせながら、我が国やそれぞれの国の違いや共通点を見だし、世界の人々と共に生きていくために大切なことについて多角的に考えたり、自分たちにできることを選択・判断したりして、自分の考えをまとめるようにする。
- ②地図帳や地球儀を用いて、取り上げる国や地域の名称と位置などを調べたり、学校図書館や公共図書館、コンピュータなどの活用、留学生や地域に住む外国人、国際交流活動に参加した人などへの聞き取り調査などにより、外国の人々の生活の様子を調べたりして、社会的事象の見方・考え方(位置や空間的な広がり)を働かせ、考えたことや分かったことを適切にまとめるようにする。

### (3) 学習展開や学習活動の工夫

- ①調べた国の人々の生活の様子について発表し合う場面を設定し、それぞれの国の人々の生活の違いなどから、文化や習慣には多様性が見られることについて、具体的に考え理解し、尊重することにつながるようにする。また、調べたことを手掛かりに、日本の文化や習慣との違いについて考えることができるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (8時間扱い)

| 過程               | ねらい<br>○数字は第○時を表わす  | 主な問い(◆)と主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)  | 教師の指導・支援<br>(□留意点◎資料 【評価】)  |
|------------------|---|---|---|
| つ<br>か<br>む      | ①日本と外国の学校生活の様子を比較し、諸外国の生活の様子を理解する。                                      | ○外国の学校生活について資料を活用して調べ、日本の学校生活との共通点や相違点を考える。<br>◆我が国とつながりが深い国々の子供たちは、どのような学校生活を過ごしているのだろう。   | ◎外国の写真<br>◎地図帳<br>◎外国の学校生活についての資料<br>【知①】   |
|                  | ②我が国とつながりが深い国の人々の生活について関心をもち、学習問題をつくる。                                  | ◆我が国とつながりが深い国の人々の生活は、日本とどのように違うのだろう。<br>○我が国とつながりが深い4か国の基本情報(人口、言語、位置、国旗)などについて調べる。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">我が国とつながりが深い国の人々は、どのような生活をしているのだろう。</div><br>○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・それぞれの国によって生活に違いがあるだろう。 | ◎アメリカ、中国、韓国、サウジアラビアの基本情報(人口、言語、位置、国旗)と行事の写真<br>□輸出入などのデータを基にしてつながりが深い国を決める。<br><br>【思①】【態①】                         |
| 調<br>べ<br>る      | ③④我が国とつながりが深い国々の生活の様子について資料を活用して調べ、ワークシートにまとめる活動を通して、その国の文化や習慣の特色を理解する。 | ◆アメリカ、中国、韓国、サウジアラビアの人々はどのような生活をしているのだろう。<br>○自分の選択した国について視点(学校生活、衣食住、文化、習慣やマナーなど)をもって調べる。<br>○自分の選択した国について調べたことをワークシートにまとめる。<br>○自分の選択した国と、日本の人々の生活の共通点や相違点をまとめる。   | □4人組をつくり、一人ずつ4か国から調べる国を選択させる。<br>◎教科書、資料集、図書資料<br>◎児童が収集した資料<br>□国ごとに資料の量に差が出ないように配慮し、学習の様子に応じて、個に応じた指導を行う。<br>【知①】 |
|                  | ⑤調べた国の人々の生活の様子についてグループで話し合い、世界の人々の生活の多様性について考える。                        | ◆調べた4か国の生活と日本の生活には、どのような共通点や違いがあるのだろう。<br>○4人組で調べた国の人々の生活の様子について話し合い、日本の人々の生活との共通点や相違点について考える。  | ◎児童が作成したワークシート<br>□4人組で、調べた4か国の生活について、分かったことを発表し合う時間を十分にとる。<br>【思①】   |
| ま<br>と<br>め<br>る | ⑥学習問題に対するまとめを発表する。  | ◆我が国とつながりが深い4か国の人々は、どのような生活をしているのだろう。<br>○学習問題に対して、ここまで調べたことを関連付けて話し合い、考えをまとめて発表する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・日本や、日本とつながりが深い国の人々の生活には、国によってそれぞれ違う文化や習慣が見られる。互いの文化や習慣の違いを尊重し合うことが大切だ。</div>                                       | □ホワイトボードを活用し、考えをまとめられるようにする。<br><br>【思②】【知②】  |
| い<br>か<br>す      | ⑦国際交流の様子について調べ、異なる文化を理解するために果たしている国際交流の役割について考える。                       | ◆日本と外国の人々は、どのような国際交流を行っているのだろう。<br>○スポーツや文化などを通じた国際交流の事例について、資料を活用して調べる。<br>○国際交流の果たす役割について考えたことを話し合う。  | ◎スポーツを通じた国際交流の事例(オリンピック・パラリンピックなど)についての文章資料<br>◎文化を通じた国際交流の事例についての文章資料<br>【思①】                                      |
|                  | ⑧諸外国の人々との共生について考えたことを意見文にまとめ、互いの国の文化や習慣を尊重しようとする態度を養う。                  | ◆私たちは、異なる文化や習慣をもった世界の人々と、これからどのように関わっていけばよいのだろう。<br>○東京都に住む外国人や訪日外国人の人数について調べる。<br>○世界の人々と共に生きていくために大切だと考えることを意見文にまとめ、発表する。   | ◎東京都に住む外国人数<br>◎訪日外国人の推移<br>□今後、外国の人々と共に生活する機会が増える可能性が高いことを示し、どう関わったらよいかを考えさせる。<br>【思②】【態②】                         |

|     |              |           |
|-----|--------------|-----------|
| 実践例 | 日本とつながりが深い国々 | 【配当 8 時間】 |
|-----|--------------|-----------|

### 第 1 時の資料 (つかむ)

資料 世界の学校を見てみよう！

(出典:キッズ外務省 HP)

◆我が国とつながりの深い国々の子供たちは、どのような学校生活を過ごしているのだろう。

【指導上の留意点】日本と比較させることでその国の特徴に気付かせる。

学校にバスで通っているんだね。

校庭はどこにあるのかな。



男女別々の勉強しているんだね。

少人数で学習しているんだね。

【指導上の留意点】上記の国以外に韓国や中国などについても同様に資料を用意する。

### 第 2 時の資料 (つかむ)

資料 4か国の基本情報

◆日本とつながりの深い国は、日本とどのような違いがあるのだろう。

#### 四力国の基本情報 (国旗、人口、言語、面積、位置)

| 国名   | アメリカ                    | 中国                     | 韓国                     | サウジアラビア                |
|------|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 国旗   |                         |                        |                        |                        |
| 人口   | 約3億1600万人               | 約13億5400万人             | 約4900万人                | 約2900万人                |
| 言語   | 英語                      | 中国語                    | 韓国語                    | アラビア語                  |
| 面積   | 962.8万平方km<br>(日本の約25倍) | 約960万平方km<br>(日本の約26倍) | 約10万平方km<br>(日本の約3分の1) | 215万平方km<br>(日本の約5.7倍) |
| 国の位置 | 北アメリカ大陸                 | ユーラシア大陸の東              | ユーラシア大陸の東              | ユーラシア大陸の西              |

【指導上の留意点】紙面の都合上日本を載せていないが、日本の人口や言語なども提示し、比較して調べ学習を行う。

日本と外国の人々の生活の相違関係に着目する。

日本よりも面積も大きく人口も多い。

日本よりも面積は大きいのに人口は少ない。

【指導上の留意点】4か国の基本情報を知った後、どのような生活をしているのか予想を立て、それを分類して調べる視点をつくることができるようにする。

#### 【学習問題】

日本とつながりが深い国の人々は、どのような生活をしているのだろう。



### 第3・4・5時の資料（調べる）

◆アメリカ、中国、韓国、サウジアラビアの人々はどのような生活を送っているのだろう。

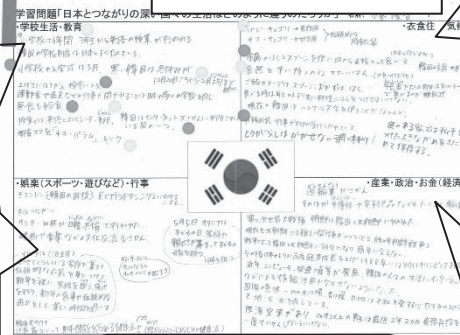
#### 【学校生活や教育】

- ・小学校は6年間、3年生から英語の授業が行われ、韓国と日本は似ている。
- ・授業では英語とコンピュータを重視している。

#### 【スポーツや遊び 行事】

- ・日本とは映画や音楽などの文化交流が盛ん。
- ・テコンドーは韓国の国技としてとても盛んである。

#### 資料 子供の作品の一部



日本の文化や習慣との相違関係に着目する。

#### 【衣食住・気候】

- ・日本と同じように皿からとって食べる。
- ・冬になるとキムチ作りが始まる。

#### 【産業・政治・経済】

- ・造船業が盛んである。半導体や電子部品などを輸出している。
- ・80年代に高度経済成長をなし遂げた。

### 第7時の資料（いかす）

#### 資料 長野市のオリンピック・パラリンピック教育PDF

◆日本と外国の人々は、どのような国際交流を行っているのだろう。



ボスニア出身の方にお茶をたてて、飲んでもらって交流をしたよ。



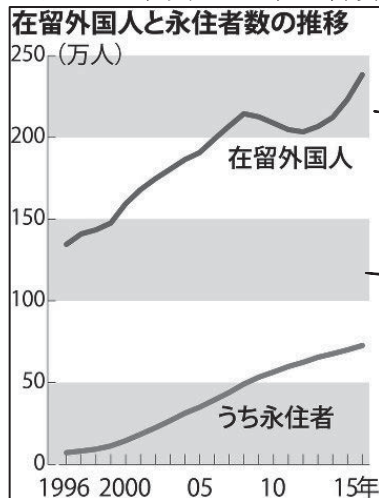
トルコの民族舞踏団の踊りを見てトルコの伝統的な文化を感じたよ。

【指導上の留意点】一国一校運動は、オリンピック開催地の学校が応援する国や地域を決め、当該国・地域の文化や言語を学習したり、選手と子供たちが交流したりして異文化理解を深めようとする活動であり、長野オリンピックから始まったことを押さえるようにする。

日本と外国の人々との友好関係に着目する。

### 第8時の資料（いかす）

◆私たちは、異なる文化や習慣をもった世界の人々と、どのように関わっていけばよいのだろう。



【指導上の留意点】左のグラフから分かることや問題となることを指摘し、学習課題につなげられるようにする。

一次的にも永久的にも日本に住む外国人が多くなってきている。

#### 【指導上の留意点】

在留⇒一時的に住むこと  
永住⇒末永く住むこと } を押さえる。

日本と外国では生活習慣が異なるから問題点なども出てくるのではないかな。

異なる文化の相互理解の大切さに着目する。

資料 在留外国人と永住者数の推移

(出典：毎日新聞社)

|      |             |        |                       |
|------|-------------|--------|-----------------------|
| 小単元名 | 世界の未来と日本の役割 | 配当 8時間 | 内容(3)アの(イ)及び(ウ)とイの(イ) |
|------|-------------|--------|-----------------------|

主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の区分

## 1 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 目標

グローバル化する世界と日本の役割について、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基に、今後、国際社会における我が国が果たすべき役割、義務や責任について多角的に考え、世界の平和に向けて自分の考えをまとめようとする態度を養う。

### (2) 観点別評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| ①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。<br>②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。 | ①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見出し、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を考え、表現している。<br>②地球規模で発生している課題とその解決のための連携や協力の様子を関連付けて、国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考え、選択・判断したりして、適切に表現している。 | ①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習したことを基に、グローバル化する国際社会において、今後、我が国が果たすべき役割、義務や責任について多角的に考え、世界の平和に向けた自分の考えをまとめようとしている。 |

## 2 指導計画の作成に当たって

### (1) 学習指導要領との関連

- ①国際連合は、平和な国際社会の実現のための大きな役割を果たしていることや、我が国は、国際連合の一員としてユニセフやユネスコの活動に協力していることなど、平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしていることや、我が国が教育や医学、農業などの分野で諸外国の発展のために貢献していること、今後も国際社会の平和と発展のために果たさなければならない責任と義務があることなどを基に、グローバル化する国際社会における我が国の役割について理解することを意図している。
- ②国旗と国歌の指導については、国際社会においては、国旗と国歌が重んじられていることに気付かせるとともに、我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を養うことが大切である。また、諸外国の国旗と国歌についても同様にこれを尊重する態度を養い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を育成する。

### (2) 教材や資料の工夫

- ①「国際連合の働き」について、ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げるようにする。「国際協力」については、教育、医療、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から選択して取り上げるようにする。
- ②地球規模で発生している紛争、環境破壊、飢餓、貧困、自然災害、人権など国境を越えた課題について、社会的事象の見方・考え方(位置や空間の広がり)を働かせて、地球規模で問題が起こっていることを捉えさせるとともに、その解決のための国際連合や我が国の協力の様子を関連付けて、我が国が果たしている役割を考え、いかす段階で議論し、文章等で表現する。

### (3) 学習活動や学習展開の工夫

- ①「国際連合の働き」や「国際協力」に関する内容を関連付けて指導することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、国際社会の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにする。

### 3 小単元の指導計画 (8時間扱い)

| 過程  | ねらい<br>○数字は第○時を表わす                          | 主な問い(◆) 主な学習活動(○)<br>予想される児童の反応(・)   | 教師の指導・支援<br>(□留意点 ◎資料 【評価】)  |
|-----|---|--|--|
| つかむ | ①世界では様々な課題が発生していることに興味をもち、その解決に向けた学習問題をつくる。 | ◆世界ではどのような課題が発生しているのだろうか。<br>○第二次世界大戦後から現在までを振り返り、世界で発生している課題について話し合う。<br>○年代が異なるハンガーマップの比較を行い、気付いたことを話し合う。<br>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。  | ◎写真と地図(紛争や飢餓など)<br>◎5年ほど前と近年のハンガーマップ<br>□紛争や飢餓、環境問題などの課題を捉えさせ、苦しむ子供たちの様子にも目を向けさせる。 |
|     |   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">世界の平和や環境を守るために、世界や日本の人々はどのような活動をしているのだろうか。</div> ○予想したことを出し合い、学習計画を立てる。<br>・世界と日本の人々が協力して課題解決に取り組んでいる。 | 【思①】【態①】   |
| 調べ  | ②ユニセフが、世界中の子供の健康や安全を守る活動を行っていることを理解する。      | ◆国際連合の機関であるユニセフは、どのようにして世界の課題を解決しようとしているのだろうか。<br>○ユニセフが行っている様々な取組を調べる。<br>○ユニセフは、どのようにして課題を解決しているのかを考え、話し合う。  | ◎貧困にあえぐ子供の写真<br>□地図を使い、アフリカやアジア諸国に多いことを押さえる。<br>◎子どもの権利条約の四つの柱<br>【知①】             |
|     | ③国際連合が行っている取組や、日本が重要な役割を果たしていることを理解する。      | ◆国際連合は、世界の平和を守るためにどのような活動をしているのだろうか。<br>○国際連合や日本が行っている取組について調べる。<br>○国際連合は、世界の平和を守るためにどのような役割を果たしているのかを考え、話し合う。  | ◎国際連合の組織図<br>□ユネスコの活動や国際連合で働く日本人の活躍を取り上げる。<br>◎国際連合の活動費の分担割合図<br>【知①】              |
|     | ④世界の課題を解決するために日本政府が行っている取組について理解する。         | ◆日本政府は、世界の課題を解決するためにどのような取組をしているのだろうか。<br>○日本政府が行っている取組について調べる。<br>○日本政府の取組が世界の環境や平和を守るためにどのような役割をしているのかを考え、話し合う。  | ◎日本政府が行っている取組の資料(外務省HP等)<br>□政府開発援助について青年海外協力隊の活動を取り上げる。<br>【知①】                   |
|     | ⑤世界の課題を解決するために非政府組織が行っている取組について理解する。        | ◆日本政府以外の日本の人々は、世界の課題を解決するためにどのような取組をしているのだろうか。<br>○国境なき医師団が行っている取組について調べる。<br>○日本政府以外の人々の取組が、課題解決にどのような役割を果たしているのかを考え、話し合う。  | ◎国境なき医師団が行っている取組の資料<br>□NGO(非政府組織)という言葉とその意味を押さえる。<br>【知①】                         |
|     | ⑥国際社会の中で互いを尊重し、協力していくことが必要であることを考える。        | ◆世界の課題を解決するために、それぞれの国がどのように協力していくことが大切なのだろうか。<br>○日本が海外に向けて取り組んでいる活動を調べる。<br>○どのようにして協力するのが大切か考え話し合う。<br>・多くの人々のもつ知識や技術を生かして協力する。  | ◎医療や環境など、専門性を生かして活動する団体の様子(写真)<br>□世界各地で活動する日本人の様子を取り上げ、考えさせる。<br>【思①】             |
|     | ⑦学習問題に対するまとめを発表する。                          | ◆世界や日本の人々はどのような働きをしているのだろうか。<br>○これまでの学習を関連付けて、国際連合の働きや我が国の国際協力について考え、話し合う。  | ◎前時までの資料やノート<br>【思②】【知②】   |
| いかす | ⑧平和な世界を実現するために大切なことや、自分にできることを考え、話し合う。      | ◆世界の人々とよりよい関係をつくるために、私たちはどのように関わっていったらよいのだろうか。<br>○四川大地震での日本の救援活動の様子を調べる。<br>○世界の人々とどのように関わっていったらよいのかを考え、話し合う。<br>○自分たちにできることを考え、意見文にまとめる。                                     | ◎四川大地震での日本の救援活動の資料<br>□日本も、東日本大震災では、多くの国の人々や国際機関から支援を受けたことを想起させる。<br>【態②】          |
|     |   | ・世界の国々や日本は国際連合という組織の中で、世界の平和や環境を守るために話し合いを行ったり支援を行ったりしている。また、日本では政府や非政府組織(NGO)が協力して世界のために貢献している。   |  |

## 第7時の資料（いかす）

### 【児童のワークシートへのまとめ例】

○現在の日本になるまでに政治の中心地や社会の主な仕組みはどのように変わってきたのだろうか。  
○歴史人物の働きや、伝統や文化は、現在の日本とどのようにつながっているだろうか。

| 時期    | 政治の中心地             | 社会の主な仕組み・歴史人物の働き                | 当時の伝統や文化・歴史人物の働き          |
|-------|--------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 縄文    |                    | 狩りや採集をしていた                      | 縄文土器 三内丸山遺跡 土偶            |
| 弥生    |                    | 米づくりが伝わった                       | 弥生土器 吉野ヶ里遺跡 登呂遺跡 金印 (卑弥呼) |
| 古墳    |                    | 「くに」がつくられる 大和朝廷                 | 古墳 はにわ 大仙古墳 稲荷山古墳         |
| 飛鳥・奈良 | 奈良                 | 天皇中心の政治 (聖徳太子・聖武天皇)             | 法隆寺 東大寺の大仏 国分寺 遣唐使 遣唐使    |
| 平安    | 京都                 | 貴族が中心 (藤原道長)                    | かな文字 寝殿造 枕草子 源氏物語         |
| 鎌倉    | 神奈川 (鎌倉)           | 幕府と御家人「御恩と奉公」の関係 (源頼朝、北条時宗)     | 鶴岡八幡宮 鎌倉大仏 外国から学び発展       |
| 室町    | 京都 (室町)            | 室町幕府 応仁の乱                       | 能や狂言 水墨画 生花 書院造 (足利義政)    |
| 戦国    | 滋賀 (安土)・京都 (桃山)・大阪 | 下剋上の世の中 (織田信長・豊臣秀吉)             | 小田原城 キリスト教 (ザビエル) 鉄砲      |
| 江戸    | 東京 (江戸)            | 武家諸法度 (徳川家康・家光) 鎖国により幕府が大きな力をもつ | 歌舞伎 浮世絵 俳句 蘭学 国学          |
| 明治    | 東京                 | 天皇中心の政治 大日本帝国憲法 (大久保利通ら) 自由民権運動 | 富岡製糸場 学問のすすめ 西洋化          |
| 大正    | 東京                 | 国会での政治 選挙権が与えられる                | 西洋化 近代化                   |
| 昭和    | 東京                 | 戦争中心の政治 (国家総動員法) 日本国憲法制定        | もんぺ 東京オリンピック 三種の神器 3C     |
| 平成    | 東京                 | 国民の願いに沿った政治 (国民主権) 平和で友好的       | インターネット                   |

政治の中心地は近畿から関東へ。天皇→貴族→武士→国民と政治をする人が変わった。人々の関係が平等になってきた。

今も米を食べ、機械を使うのが当たり前。

書院造は、今の和室に取り入れられている。

政治や戦争での失敗から改善をして、今のよい日本になった。

国民の地位が向上

現在の日本

### 【学習の展開例】

#### (1) 政治の中心地や社会の主な仕組みを振り返る。

- ① 問い「現在の日本になるまでに政治の中心地や社会の主な仕組みはどのように変わってきたのだろうか。」についてワークシートに記入する。  
※地図帳や教科書を使ったり、ノートを見たりして記入させる。
- ② 政治の中心地や社会の主な仕組みの変化、歴史人物の働きについて話し合う。
  - ・政治の中心地は近畿地方から東京に移ってきている。
  - ・社会の仕組みは、一部の地位の人から国民などの多くの人が政治をするように変わってきている。

#### (2) 歴史人物の働き、伝統や文化と現在とのつながりを考える。

- ① 問い「歴史人物の働き、伝統や文化は、現在の日本とどのようにつながっているだろうか。」についてワークシートに記入する。  
※教科書を使ったり、ノートを見たりして記入させる。
- ② 歴史人物の働きや、伝統や文化と現在の日本とのつながりについて話し合う。
  - ・外国から学んだから日本は現在のような発展をした。
  - ・歴史人物の働きが、現在の社会の仕組みにつながっている。

#### (3) 歴史学習を通して考えたことを書く。

- 視点：「歴史学習はどのようなことに生かせるか」「歴史を学ぶ意味はどのようなことだと思ったか」

### 【指導のポイント】

政治の中心地については、朝廷や幕府、政府が置かれた場所を記入するようにさせる。社会の主な仕組みについては、政治の中心人物やその身分、政治を進めるための制度などを記入するようにさせる。

歴史人物の働き、伝統や文化については、当時の人々の思いや願い、意図や目的を考えながら記入するようにさせる。現在とのつながりについては(1)の活動も踏まえながら、現在も残っているもの、現在の社会の仕組みとのつながりを考えるようにさせる。

現在の日本が抱える課題などを基にしながらかくようにさせる。

)

6年組 番 名前 (

○現在の日本になるまでに政治の中心地や社会の主な仕組みはどのように変わってきたのだろうか。  
 ○歴史人物の働きや、伝統や文化は、現在の日本とどのようにつながっているだろうか。

現在の日本

| 時期    | 政治の中心地 | 社会の主な仕組み・歴史人物の働き | 当時の伝統や文化・歴史人物の働き |
|-------|--------|------------------|------------------|
| 縄文    |        |                  |                  |
| 弥生    |        |                  |                  |
| 古墳    |        |                  |                  |
| 飛鳥・奈良 |        |                  |                  |
| 平安    |        |                  |                  |
| 鎌倉    |        |                  |                  |
| 室町    |        |                  |                  |
| 戦国    |        |                  |                  |
| 江戸    |        |                  |                  |
| 明治    |        |                  |                  |
| 大正    |        |                  |                  |
| 昭和    |        |                  |                  |
| 平成    |        |                  |                  |

## 東京都小学校社会科研究会

### 社会科指導計画（第一次 平成30年2月発行）

#### 作成委員名簿

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 会 長  | 月岡 正明（世田谷区立等々力小学校長）                 |
| 委員長  | 吉村 潔（世田谷区立烏山北小学校長）                  |
| 副委員長 | 吉藤 玲子（台東区立忍岡小学校長）                   |
| 副会長  | 駒野真理子（葛飾区立柴又小学校長） 不破 純一（小金井市立東小学校長） |

#### ● 3年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校          |
|------|-------|--------------|
| 校長   | 佐藤 民男 | 中野区立美鳩小学校    |
| 校長   | 柿崎 洋一 | 日の出町立平井小学校   |
| 校長   | 奥澤 弘子 | 江戸川区立大杉第二小学校 |
| 指導教諭 | 田辺留美子 | 葛飾区立上小松小学校   |
| 主幹教諭 | 和知奈穂子 | 世田谷区立三軒茶屋小学校 |
| 主任教諭 | 池田 豊一 | 多摩市立多摩第二小学校  |
| 主任教諭 | 梅木真由美 | 中野区立中野本郷小学校  |
| 主任教諭 | 大野 拓哉 | 武蔵村山市立第九小学校  |
| 主任教諭 | 川崎 義人 | 中央区立明石小学校    |
| 主任教諭 | 三木田 誠 | 杉並区立沓掛小学校    |
| 主任教諭 | 渡辺 智史 | 板橋区立志村第一小学校  |

#### ● 4年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校           |
|------|-------|---------------|
| 校長   | 和田 幹夫 | 豊島区立池袋第三小学校   |
| 校長   | 杉渕 尚  | 中野区立新井小学校     |
| 校長   | 佐藤 門太 | 清瀬市立清瀬第八学校    |
| 副校長  | 神尾 健彦 | 日の出町立平井小学校    |
| 副校長  | 吉野 元也 | 大田区立糎谷小学校     |
| 主幹教諭 | 桑畑 大樹 | 品川区立城南小学校     |
| 主幹教諭 | 射水 博子 | 大田区立洗足池小学校    |
| 主任教諭 | 木本 武志 | 板橋区立板橋第十小学校   |
| 教諭   | 内藤 俊介 | 小金井市立小金井第一小学校 |
| 教諭   | 長久保良太 | 江東区立南陽小学校     |

#### ● 5年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 石井 正広 | 町田市立大蔵小学校   |
| 校長   | 斎藤幸之介 | 港区立芝小学校     |
| 校長   | 加藤 雅弘 | 足立区立中川小学校   |
| 校長   | 村松 良臣 | 北区立豊川小学校    |
| 校長   | 小澤 伸生 | 杉並区立井荻小学校   |
| 指導教諭 | 横田 富信 | 世田谷区立経堂小学校  |
| 主任教諭 | 岩森 一弥 | 北区立王子第三小学校  |
| 主任教諭 | 三浦 哲  | 杉並区立新泉和泉小学校 |
| 主任教諭 | 笠原 駿  | 中野区立江古田小学校  |
| 主任教諭 | 佐藤 智彦 | 世田谷区立経堂小学校  |
| 主任教諭 | 草薨聖太郎 | 世田谷区立瀬田小学校  |
| 教諭   | 寺本 大一 | 文京区立本郷小学校   |

#### ● 6年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 浅野 正道 | あきる野市立草花小学校 |
| 校長   | 星崎 誠  | 足立区立亀田小学校   |
| 校長   | 三好 浩一 | 町田市立藤の台小学校  |
| 主幹教諭 | 田内 利美 | 世田谷区立北沢小学校  |
| 主幹教諭 | 川嶋 美武 | 千代田区立和泉小学校  |
| 主幹教諭 | 野間啓二郎 | 江東区立豊洲北小学校  |
| 主任教諭 | 櫻井 正義 | 東久留米市立本村小学校 |
| 主任教諭 | 小甲 圭悟 | 世田谷区立等々力小学校 |
| 主任教諭 | 大滝 淳子 | 中野区立桃園小学校   |
| 主任教諭 | 山家 哲雄 | 世田谷区立三宿小学校  |
| 教諭   | 桑島 孝博 | 板橋区立下赤塚小学校  |

## 東京都小学校社会科研究会

### 社会科指導計画（第二次 平成31年2月発行）

#### 作成委員名簿

|      |                     |
|------|---------------------|
| 会 長  | 吉村 潔（世田谷区立烏山北小学校長）  |
| 委員長  | 吉藤 玲子（台東区立忍岡小学校長）   |
| 副委員長 | 和田 幹夫（豊島区立池袋第三小学校長） |
| 副会長  | 不破 淳一（小金井市立東小学校長）   |
|      | 和田 敏郎（江戸川区立本一色小学校長） |

#### ● 3年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 佐藤 民男 | 中野区立美鳩小学校   |
| 校長   | 柿崎 洋一 | 日の出町立平井小学校  |
| 主幹教諭 | 和知奈穂子 | 中野区立新井小学校   |
| 主任教諭 | 梅木真由美 | 中野区立中野本郷小学校 |

#### ● 4年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 矢部 洋一 | 品川区立小山台小学校  |
| 主幹教諭 | 栗原由紀子 | 小平市立小平第六小学校 |
| 主幹教諭 | 田内 利美 | 世田谷区立等々力小学校 |
| 主幹教諭 | 桑畑 大樹 | 世田谷区立瀬田小学校  |
| 主任教諭 | 木本 武志 | 板橋区立板橋第十小学校 |
| 主任教諭 | 山家 哲雄 | 世田谷区立三宿小学校  |
| 主任教諭 | 桑島 孝博 | 板橋区立下赤塚小学校  |
| 教諭   | 岡本 祥歩 | 杉並区立荻窪小学校   |

#### ● 5年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 石井 正広 | 新宿区立四谷小学校   |
| 校長   | 村松 良臣 | 北区立豊川小学校    |
| 主任教諭 | 三浦 哲  | 杉並区立新泉和泉小学校 |
| 主任教諭 | 寺本 大一 | 文京区立本郷小学校   |

#### ● 6年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 浅野 正道 | あきる野市立草花小学校 |
| 校長   | 中嶋 太  | 青梅市立第五小学校   |
| 主幹教諭 | 川嶋 美武 | 千代田区立和泉小学校  |
| 主任教諭 | 小甲 圭悟 | 世田谷区立等々力小学校 |

## 東京都小学校社会科研究会

### 社会科指導計画（第三次 令和2年2月発行）

#### 作成委員名簿

|      |                     |
|------|---------------------|
| 会 長  | 吉村 潔（世田谷区立烏山北小学校長）  |
| 委員長  | 吉藤 玲子（台東区立忍岡小学校長）   |
| 副委員長 | 和田 幹夫（板橋区立高島第六小学校長） |
| 副会長  | 和田 敏郎（江戸川区立本一色小学校長） |
|      | 森 清隆（青梅市立霞台小学校長）    |

#### ● 3年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 佐藤 民男 | 中野区立美鳩小学校   |
| 校長   | 柿崎 洋一 | 日の出町立平井小学校  |
| 主幹教諭 | 和知奈穂子 | 中野区立新井小学校   |
| 主任教諭 | 梅木真由美 | 中野区立中野本郷小学校 |

#### ● 4年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校           |
|------|-------|---------------|
| 校長   | 相原 雄三 | 文京区立関口台町小学校   |
| 校長   | 新貝 朗  | 江東区立第二辰巳小学校   |
| 校長   | 増田 亮  | 小金井市立小金井第三小学校 |
| 校長   | 内井 利樹 | 府中市立府中第十小学校   |
| 主幹教諭 | 栗原由紀子 | 小平市立小平第六小学校   |
| 主任教諭 | 木本 武志 | 中野区立新井小学校     |
| 主任教諭 | 山家 哲雄 | 世田谷区立烏山北小学校   |
| 主任教諭 | 名取 慶  | 世田谷区立烏山北小学校   |
| 主幹教諭 | 桑畑 大樹 | 世田谷区立瀬田小学校    |
| 主任教諭 | 遠藤 拓朗 | 中野区立塔山小学校     |

#### ● 5年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 石井 正広 | 新宿区立四谷小学校   |
| 校長   | 村松 良臣 | 北区立豊川小学校    |
| 指導教諭 | 寺本 大一 | 文京区立本郷小学校   |
| 主任教諭 | 三浦 哲  | 杉並区立新泉和泉小学校 |

#### ● 6年部会 ●

| 職層   | 名 前   | 所属校         |
|------|-------|-------------|
| 校長   | 中嶋 太  | 青梅市立第五小学校   |
| 校長   | 小須田哲史 | 東大和市立第九小学校  |
| 指導教諭 | 横田 富信 | 世田谷区立経堂小学校  |
| 主任教諭 | 小甲 圭悟 | 世田谷区立等々力小学校 |